

平成28年度 第1回ゆりはま創生総合戦略会議

日 時 平成28年5月12日(木)

10時30分～

場 所 湯梨浜町役場 講堂

1. 開 会

2. 委員紹介

3. 会長あいさつ

4. 副会長の選出について

5. 湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略に係るKPI及び具体的事業の進捗状況
と取組状況について

6. 湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略の改正について

7. その他

8. 閉 会

ゆりはま創生総合戦略会議委員名簿

任期：平成27年5月27日～平成29年5月26日（2年間）

敬称略

	区分	役職	氏名	備考	
1	産	湯梨浜町商工会	会長	中島 守	
2	産	J A鳥取中央	湯梨浜営農センター長	西本 稔	
3	産	株式会社 栄進工業	代表取締役	坂田 康則	
4	官	湯梨浜町	町長	宮脇 正道	
5	学	鳥取看護大学・鳥取短期大学	理事長	山田 修平	会長
6	学	東郷湖・未来創造会議	会長	遠藤 公章	
7	学	女性団体連絡協議会	会長	井土 美智子	
8	金	山陰合同銀行	羽合支店長	山村 靖	
9	金	鳥取銀行	羽合支店長	若山 敬之	
10	金	日本政策金融公庫	鳥取支店事業統轄	小野寺 仁史	
11	労	労働団体の関係者		加藤 一	
12	労	労働団体の関係者		野口 智恵子	
13	言	新日本海新聞社	顧問	佐伯 健二	
14	公募	男性公募		森田 宏樹	
15	公募	女性公募		杉本 貴美子	

16		鳥取県中部総合事務所 地域振興局	参事	中本 修	
17		湯梨浜町	副町長	仙賀 芳友	
18		湯梨浜町	副町長（地方創生担当）	山根 孝幸	
19		湯梨浜町	教育長	土海 孝治	
20		湯梨浜町総務課	課長	蔵本 知純	
21		湯梨浜町議会事務局	局長	川本 栄二	
22		湯梨浜町出納室	室長	川田 信行	
23		湯梨浜町建設水道課	課長	小林 長志	
24		湯梨浜町産業振興課	課長	前田 啓嗣	
25		湯梨浜町企画課	課長	森 輝信	
26		湯梨浜町町民課	課長	重松 雅文	
27		湯梨浜町子育て支援課	課長	丸 真美	
28		湯梨浜町総合福祉課	課長	米増 誠	
29		湯梨浜町健康推進課	課長	瀬戸 隆行	
30		湯梨浜町長寿福祉課	課長	竹本 恵子	
31		湯梨浜町教育総務課	課長	西原 信男	
32		湯梨浜町生涯学習・人権推進課	課長	山田 昭彦	
33		湯梨浜町中央公民館	館長	富山 弘道	
34		湯梨浜町立図書館	館長	尾嶋 敏彦	
35		湯梨浜町国民宿舎水明荘	支配人	中山 明	
36		湯梨浜町みらい創造室	室長	岩崎 正一郎	事務局
37		湯梨浜町みらい創造室	安心生活担当係長	船木 宣孝	事務局
38		湯梨浜町みらい創造室	活力創造担当主事	會見 典恵	事務局
39		湯梨浜町みらい創造室	町民協働担当主事	谷岡 雅也	事務局

基本目標 I 活力ある元気なまち

湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標 (KPI) 一覧

資料 1

目標指標	設定の考え方	現状値	H27実績		担当課	備考	
			実績値	H31目標値			
温泉宿泊客数	温泉、食、歴史などの資源やイベントを通じ、町が一体となった観光基盤を充実させ、年間20万人の宿泊客数を指す。(H25 178,296人、H26 165,940人)	-	167,177人	20万人(年間)	産業振興課		
新規就業者数(常雇用)	町民が町内・町外の企業等に就職した常雇用の雇用者数(フルタイム、パート)が減少している状況であるが、5年連続で新規就業者数を年間200人を目指す。(H25 269人、H26 222人)	-	189人	200人(年間)	産業振興課	(みらい創造室)	
●数値目標(平成31年度)							
項目	具体的施策	指標	設定の考え方	現状値	H27実績	H31目標値	
農林水産業の振興	○20世紀梨等の特産物を活かした「果物大国」の推進 ○新規就業者の増加支援、担い手確保、育成、集落営農化の促進 ○農林水産物や食など地域の魅力を活かした名産・名物の開発・販路開拓 ○遊休農地及び耕作放棄地解消への対策 ○東郷池や日本海の豊富な海産物を活かした漁業の振興	梨栽培面積 梨新品種への改種・新種 新規就業者 認定農業者(家)数 GMアーク、商標権、意匠権等の取得件数 利用権設定面積 シジミの漁獲量 漁業経営体数	現状維持 新甘房など新品種への改種・新種を行い、栽培面積を3.5ha増やす(年0.7haの増) 新規就業者の7名増(年1~2名の増) 認定農業者件数を8件増(年1~2件の増) 特産品等の販路拡大につなげるため、商標権等の取得件数を3件増やす 農地の荒廃を防ぐため、利用権設定面積を5.5ha増やす(年1haの増) シジミの漁獲量を155t増やす(年30tの増) ※H20、21年実績を目指す 現状維持	180ha 1.5ha 8人 37経営体 0件 219.5ha 45t 49経営体	算出指標等 東郷果実部に関する取組面積(ほとんどもが高断化による栽培縮小) 東郷果実部に関する取組面積(JA経由で苗木を購入した農家の申告面積の計) H26.3:認定8人、H27.3:認定9人 新規認定6名、更新辞退2名 0件 220.4ha 906件、2,044筆 94.5t 東郷湖漁協からの聞き取り	180ha 5.0ha 15人 45経営体 3件 225.0ha 200t 49経営体	産業振興課 産業振興課 産業振興課 産業振興課 産業振興課 産業振興課 産業振興課 産業振興課
観光産業の振興	○「グラウンド・ゴルフ」や「ウォーキング」など本町の特性を活かした、国内はもとよりインバウンドを推進 ○はわい温泉・東郷温泉を活かした観光地としての魅力向上(滞在型観光、周遊観光の推進) ○天女のふる里づくり事業による、交流人口の増加と地域の活性化の推進 ○観光客に対応したWi-Fiの整備、誘導サイン、ベンチなどの推進(多言語対応、利便性の向上) ○戦略的な情報発信と着地型や体験型の観光メニュー造成、誘客	海外からのイベント参加回数 スッポン出荷数 新規Wi-Fi整備施設数 着地型観光商品利用者数	グラウンド・ゴルフ、ウォーキング大会を開催することにより、445人増やす(年40人の増) 現状値58人はH26グラウンド・ゴルフ国際大会の参加者数 グラウンド・ゴルフ、ウォーキング大会を開催することにより、18か国増やす(年3~4か国の増) 現状値はアメリカ、韓国の2か国 温泉水を活用して運搬したスッポンの出荷数を2,000匹増やす(年400匹の増) 町内観光施設等へのWi-Fi設置を20件増やす(年4件の増) 既存観光商品の推進や新規観光商品の開発により利用者数を1,500人以上とする	55人 2か国 0匹 0件 593人	(グラウンド・ゴルフ) 4か国 (ウォーキング) 3か国 韓国、中国、ロシア (グラウンド・ゴルフ) 台湾、中国、スペイン、韓国 (ウォーキング) 4か国 (ウォーキング) 3か国 韓国、中国、ロシア 産駒設備整備に当初の予定以上に期間を要したため、産駒孵化準備の整備のみこととなり、出荷には至らなかった。 水郷 羽衣(羽)に「お食事処、養生館、カフェ」 1層、café Achelino 979人 梅運67人、産文神社49人、東郷湖140人	500人 新築5か国/年 2,000匹 20件 1,500人以上	産業振興課 生涯学習・人権推進課 健康推進課 産業振興課 産業振興課 産業振興課
商工業の振興	○事業所の新設や新分野への進出、新製品開発、6次産業化等に対する支援 ○地元資源を活用した町内商工業者の振興と活性化の推進 ○ICTを活用したコンテンツ系企業など企業誘致の推進	企業立地補助金やチャレンジショップ奨励金事業等を活用した企業数(年1件の増)	企業立地補助金やチャレンジショップ奨励金事業等を活用した企業数を1件に増やす(年1件の増)	3件	■チャレンジショップ支援奨励金を活用した2事業が事業開始(お食事処 ~ 焼 ~ HAKUSEN) ■やはりほほまじげ産育成補助金を活用した2事業が新規創業(はわい温泉・東郷温泉旅館組合、サカサカウイ屋)	7件	産業振興課
雇用の推進	○就職情報の提供による企業と学生とのマッチング促進 ○高齢者の経験や知識を活用した就労の支援(CCRCIによるアクティブシニアの活用等)	支援制度を活用した雇用者数	雇用促進奨励金の対象となった雇用者1人(株式会社浅津院(ゆの宿彩舎))	2人	1人	10人以上	産業振興課

基本目標Ⅱ 安心して暮らせるまち

湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標(KPI)一覧

●数値目標(平成31年度)

目標指標	設定の考え方	現状値	実績値		H31目標値	担当課	備考
			H27実績	H27実績等			
合計特殊出生率	若い世代の人口を維持し、出生率増加を図る。 平成31年度公費(平成30年分)合計特殊出生率1.95を維持する。	-	2.04	算出指標等 平成27年度公費(平成28年分)合計特殊出生率(鳥取県人口動態統計より(福祉保健課提供)) 15~49歳までの女性の年齢別(5歳ごと)出生率を合計したもので、一人の女性がその年齢別出生率で一生の間にもつとれたときの子ども数に相当する。	1.95	子育て支援課	
出生数	合計特殊出生率の維持とともに、出生数そのものの増加をめざしながら人口減少克服を図る。 H25年度156人、H28年度149人	-	143	算出指標等 平成27年4月2日から平成28年4月1日の間に本町で生まれた者の数。(健康増進システムより抽出)	160人(年間)	子育て支援課	

●具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)

項目	具体的な施策	指標	設定の考え方	現状値	実績値		H31目標値	担当課	備考					
					H27実績	H27実績等								
子育て環境の推進	<ul style="list-style-type: none"> 安心して子育てのできる保育サービスの充実と環境整備の推進(子育て世代の経済的な負担の軽減) 妊娠前から子育て期にわたる総合的相談支援を行うワンストップ化を推進 放課後児童クラブや放課後子ども教室の充実、開かれた学校づくりなど、地域で子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりの推進 子どもたちの健やかな成長を地域全体で支える教育環境づくりの推進 地域の中で育ち、運動活のすばらしさを体感し、ふるさとに愛着を持ち大切に守っていくこととするふるさと教育の推進 仕事と生活の調和を図るワークライフバランスの環境づくりを事業者とともに推進 	<ul style="list-style-type: none"> 1歳に到達するまで家庭で保育する率 年30人 現状維持 土日や休日に公共施設等を活用した学習会を開催することにより、小・中学生とも5年後に100人増やす(年20人の増) アンケートを小・中・高で実施し、故郷で暮らしたい児童(生徒)の割合を70%以上とする 認定企業数を10社増やす(年2社の増) 	62.2%	59.7%	H26年4月2日からH27年4月1日生まれの子の内で、平成27年度中に1歳に到達せず入園した者を除いた者の割合。分母は転出入考慮しない。年度末において入所者の転出は除かない。(89/149)	80%	子育て支援課							
									年3子以降出生数	27人	H26年4月2日から平成28年4月1日の間に本町で生まれた者の数。(健康増進システムより抽出)	150人	子育て支援課	
									子ども園待機児童数	0人	現状維持	0人	子育て支援課	
									自主学習の広場利用者数	小学生 0人 中学生 0人	土日や休日に公共施設等を活用した学習会を開催することにより、小・中学生とも5年後に100人増やす(年20人の増)	小学生 0人 中学生 0人	小学生 100人 中学生 100人	教育総務課
									故郷で暮らしたい児童の割合(アンケート実施)	59%	アンケートを小・中・高で実施し、故郷で暮らしたい児童(生徒)の割合を70%以上とする	59%	70%以上	教育総務課
地域福祉の推進	<ul style="list-style-type: none"> 地域や個人に密着した健康づくりの推進 ボランティアとして地域の自主的な介護予防や健康づくり活動の指導や支援の推進 保健師等による定期的な訪問による、相談体制の充実を図る アクティビニアとして、町民や移住者が健康で生涯活躍が出来るまちを推進 結婚を希望する男女の出会いの機会を創出する縁結び支援員の活動を支援するとともに情報提供を行い、少子化・定住対策の推進 出会いや交流機会が広がるよう、広域連携を求めた出会いの場づくりの推進 	<ul style="list-style-type: none"> 介護予防・健康づくりリーダー養成者数 CCRC事業に参画する民間事業者・団体数 5年間で100人を養成(年20人の増) 参画団体を5年後に5団体以上 結婚支援事業による婚姻件数増やす(年1件の増) 	0人	0人	20人	養成講座修了者 20人	100人	長寿福祉課						
										参画団体を5年後に5団体以上	0団体	H28から事業を実施するため、H27は実績なし。	5団体以上	みらい創造室
結婚の出会いの場づくりと情報提供		結婚支援事業による婚姻件数増やす(年1件の増)	1件	0件	5件	企画課								

基本目標Ⅲ 町民みんなが創るまち

湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標(KPI)一覧

●数値目標(平成31年度)

目標指標	設定の考え方	現状値	H27実績		担当課	備考
			実績値	算出指標等		
県外からのUJターン者数	人口減少に歯止めをかけるため、H27から31のUJターン者数850人を目指す	-	177人	男:85人、女:92人	みらい創造室	
転入転出差動	人口減少に歯止めをかけるため、H31年度での転入転出の均衡を目指す。	-	△75	鳥取県統計課「鳥取県人口移動調査」より転入:472人、転出:547人	みらい創造室	

●具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)

項目	具体的な施策	指標	設定の考え方	現状値	H27実績		担当課	備考
					実績値	算出指標等		
移住定住の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○多様な移住ニーズに対応する相談体制の充実やUJターンの促進に向けた広く本町の魅力を発信 ○若者夫婦や子育て世代の住宅支援をはじめ、町内への移住や定住を促進 ○空き家を活用して移住希望者が求める住まい環境づくりを推進 ○移住定住希望者が本町の暮らしを体験できるよう、お試し住宅の設置や環境づくりを図る。 ○鳥取大学等との連携による「地(知)の拠点OOC+」事業に参画し、地域の活性化・定住化につながる人材の育成を図る 	空き家バンク成約件数	設定の考え方 空き家情報バンクを利用して成約した件数を22件増やす(年4件の増)	3件	1件	空き家バンク利用実績	25件	みらい創造室
		若者・子育て世代の移住件数	補助制度を利用して移住した件数を25件増やす(年5件の増)	0件	6件	移住定住者住宅支援事業及び若者夫婦・子育て世代住宅支援事業を利用した町外からの移住件数	25件	みらい創造室
まちのにぎわい創出や拠点の形成	<ul style="list-style-type: none"> ○町民や団体が主体となった創業者工夫による魅力的な地域づくり活動を支援 ○災害に強いまちづくりを進めるため、地域住民が主体的・意欲的に取り組む防災対策を推進 ○いつでも、誰もが集える拠点を整備するためバリアフリーなど環境づくりを推進 ○分散している様々な生活サービスや地域活動の場などをつなぐ「小さな拠点」づくりを推進するほか、企業等と連携した移動販売や買い物支援など多機能なサービスの実現を図る ○地域に広がる伝統芸能活動や文化資源の活用による地域振興 ○ICTの急速な進化がもたらす社会への対応 ○地域資源を有効活用した「癒しの地域づくり」の推進 ○温泉熱・風力・太陽光など自然エネルギーの利活用を図る ○環境・健康づくり・福祉・教育等様々な分野における団体の育成を図り、自助・共助を推進するほか、住民参画による行政推進を目指す 	新規自主防災組織取組件数	自主防災組織取組件数を10件増やす(年2件の増)	0件	3件	港区、はわい長瀬団地自治会、光吉区	10件	総務課
		集会所バリアフリー件数	集会所バリアフリー件数を25件増やす(年5件の増)	0件	3件	長瀬東部公民館、小浜地区集会所、川上公民館の3カ所バリアフリー改修完了	25件	総合福祉課
		小さな拠点の数	小さな拠点取り組み地域を1地域増やす	0地域	0地域	H28から事業を実施するため、H27は実績なし。	1地域	みらい創造室
		温泉熱エネルギー利用施設数	温泉熱エネルギーを利用した施設を4施設増やす	0施設	3施設	協和地建湯梨浜温泉熱発電所・国民宿舎水明荘・ゆアンス東郷町温泉	4施設	企画課
		NPO法人、ボランティアグループの数	NPO法人、ボランティアグループの数を43団体増やす	36団体	38団体	ボランティアグループ2団体の増(面積クラブ・カエ梅や)	43団体	企画課

基本目標Ⅰ 活力ある元気なまち

湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略 具体的事業一覧

施設	担当課	事業名	事業概要	新規継続	H27 事業実施内容 【H26からの継続含む】	H27 KPI 目標・結果 【H26からの継続含む】	H27 KPI 事業計画 【H26からの継続含む】	H28 KPI 目標・結果 【H27からの継続含む】
1	みらい製造室	湯梨浜町総合戦略決定事業	地方直任総合戦略を推進し、総合戦略を決定する。また、PDCAサイクルに基づき事業成果を検証し、必要な見直しを行う。	新規	【先行型】※H27.2月補正計上 運送用トラック1台を新調し、人口ビジョン及び総合戦略を策定した。人口ビジョンを8月31日、総合戦略を10月14日に策定。 【結果】 運送用トラック1台を新調し、人口ビジョンを8月31日、総合戦略を10月14日に策定。 H27.10.14に総合戦略を策定	H27 10月までに総合戦略を策定する H27.10.14に総合戦略を策定	H28 事業内容 【H27からの継続含む】 運送用トラック1台を新調し、人口ビジョン及び総合戦略を策定した。 【結果】 運送用トラック1台を新調し、人口ビジョンを8月31日、総合戦略を10月14日に策定。 H27.10.14に総合戦略を策定	H28 KPI 目標・結果 【H27からの継続含む】 総合戦略を決定し、PDCAサイクルに基づき事業成果を検証し、必要な見直しを行う。
2	産業振興課	農産物販路拡大及びブランド化推進事業	①湯梨浜町の二十世紀梨をはじめとする産物の加工品の新たな販路拡大、ブランド化を推進する。②アグリフードフェアへの参加を積極的に行い、販路拡大を図る。	新規	【先行型】※H27.2月補正計上 ①JA等関係機関との意思統一、対農家の選定に時間を要し、またTPPの動向などにも影響されるため、H27については実施を見送った。 ②町・村の特産品が集まる「町イチ」村イチ1,201に出向し、販路拡大を図った。また、梨の運搬に特化したバンレットの作成について補助し、知名度の向上を図った。	【計画】B 計画以上に進んでいる 【計画】C 計画以上に進んでいる 【計画】D 計画以上に進んでいる	H28 KPI 目標・結果 【H27からの継続含む】 農産物販路拡大及びブランド化推進事業の成果を報告し、必要な見直しを行う。	
3	産業振興課	鳥取等生産者支援事業 （農業生産現場強化事業）	本町産二十世紀梨ブランド化推進のため、就農の安定化を支援し、省力化による現場の共同利用に資する経費を助成する。 ○全体事業費 4,202千円（県：8,404千円×補助率1/3） ＝2,800千円、町：1,398千円×補助率1/6＝1,400千円）	新規	【先行型】※H27.9月補正計上 意欲ある農業者に対して、省力化が可能となるスピードスプレーヤーを購入するための経費を助成した。また、高品質の農産物を生産するための経費を助成した。また、高品質の農産物を生産するための経費を助成した。 ○全体事業費 3,890,000円（県：7,780千円×補助率1/3＝2,593千円、町：7,780千円×補助率1/6＝1,297千円） （製菓度センサー） ○全体事業費 3,200,000円（町：3,200千円×補助率1/3＝1,066千円）	【計画】B 計画以上に進んでいる 【計画】C 計画以上に進んでいる 【計画】D 計画以上に進んでいる	H28 KPI 目標・結果 【H27からの継続含む】 鳥取等生産者支援事業の成果を報告し、必要な見直しを行う。	
4	産業振興課	高級製菓師育成支援事業 （農業生産現場強化事業）	県産二十世紀梨の新たなブランド化のため、パン・ケーキやシリアル、アレルギー対応食品など幅広い加工品を生産する。また、県産二十世紀梨の新たなブランド化のため、パン・ケーキやシリアル、アレルギー対応食品など幅広い加工品を生産する。また、県産二十世紀梨の新たなブランド化のため、パン・ケーキやシリアル、アレルギー対応食品など幅広い加工品を生産する。	新規	【先行型】※H27.9月補正計上 パン・ケーキやシリアル、アレルギー対応食品など幅広い加工品を生産するための経費を助成した。また、高品質の農産物を生産するための経費を助成した。 ○全体事業費 643,680円、工事請負費498,800円、備品購入費638,800円	【計画】B 計画以上に進んでいる 【計画】C 計画以上に進んでいる 【計画】D 計画以上に進んでいる	H28 KPI 目標・結果 【H27からの継続含む】 高級製菓師育成支援事業の成果を報告し、必要な見直しを行う。	
5	産業振興課	高級製菓師育成支援事業 （農業生産現場強化事業）	県産二十世紀梨の新たなブランド化のため、パン・ケーキやシリアル、アレルギー対応食品など幅広い加工品を生産する。また、県産二十世紀梨の新たなブランド化のため、パン・ケーキやシリアル、アレルギー対応食品など幅広い加工品を生産する。また、県産二十世紀梨の新たなブランド化のため、パン・ケーキやシリアル、アレルギー対応食品など幅広い加工品を生産する。	新規	【先行型】※H27.9月補正計上 県産二十世紀梨の新たなブランド化のため、パン・ケーキやシリアル、アレルギー対応食品など幅広い加工品を生産するための経費を助成した。また、高品質の農産物を生産するための経費を助成した。 ○全体事業費 2,000千円（補助金）	【計画】B 計画以上に進んでいる 【計画】C 計画以上に進んでいる 【計画】D 計画以上に進んでいる	H28 KPI 目標・結果 【H27からの継続含む】 高級製菓師育成支援事業の成果を報告し、必要な見直しを行う。	
6	産業振興課	果樹園等維持管理・活性化促進事業	後継者のいない果樹園等について、引き継ぎ手がなかった場合に維持を再開する経費の一部を補助し、耕作放棄地の発生を防止する。	新規	【先行型】※H27.9月補正計上 後継者のいない果樹園等について、引き継ぎ手がなかった場合に維持を再開する経費の一部を補助し、耕作放棄地の発生を防止する。 ○全体事業費 2,000千円（補助金）	【計画】B 計画以上に進んでいる 【計画】C 計画以上に進んでいる 【計画】D 計画以上に進んでいる	H28 KPI 目標・結果 【H27からの継続含む】 果樹園等維持管理・活性化促進事業の成果を報告し、必要な見直しを行う。	

基本目標Ⅰ 活力ある元氣なまち

施策	担当課	事業名	事業概要	新規継続	H27 事業実施内容 【H26からの繰越含む】	H27 KPI 目標・結果 【H26からの繰越含む】	H28 事業内容 【H27からの繰越含む】	H28 KPI 目標・結果 【H27からの繰越含む】
① 農林水産業の振興	産業振興課	溝製浜取担い手認定	現在、農業経営者意識強化に基づく認定農業者、新規認定農業者の認定を行っている。町独自で認定を認定し、法の基準を満たさない農業者に対し(仮)認定農業者として認定するもの。 法の基準を満たす者と町標準を満たす者について、機働整備に対する経費の支援、就農初期の運搬資金、基礎整備及び生活費等に活用可能な返済の定めのない貸付金支援や就業に対する研修費等を補助し地域農業の担い手の確保に繋げる。	新規	H27 事業実施内容 【H26からの繰越含む】 溝製浜取担い手ステツアップ支援事業を創設し、平成28年度から本格的に事業に取り組み。 【対象者】 ①認定農業者、②準認定農業者、③認定新規就業者、④準認定新規就業者、⑤農業者等組織 【支援内容、補助率等、対象者】 ○就農奨励金(就農3年以内の対象者)に定額30万円、④ ○就農奨励金(就農3年以上以内の対象者)に定額30万円、④ ○新規就業者住宅費貸付補助、町外から転入する就業者に家賃の1/2(上限2万円)を補助、③・④ ○中古機械購入補助、中古機械購入費の1/3(上限10~50万円)を補助、①・②・③・④ ○農業機械修理補助、農業機械、施設の修繕費の一部を補助(5~30万円)、①・②・③・④・⑤	H27 KPI 目標・結果 【H26からの繰越含む】 【目標】 新規就業者数:1人増 【結果】 新規就業者数:1人増	H28 事業内容 【H27からの繰越含む】 溝製浜取担い手ステツアップ支援事業を創設し、平成28年度から本格的に事業に取り組み。 【対象者】 ①認定農業者、②準認定農業者、③認定新規就業者、④準認定新規就業者、⑤農業者等組織 【支援内容、補助率等、対象者】 ○就農奨励金(就農3年以内の対象者)に定額30万円、④ ○就農奨励金(就農3年以上以内の対象者)に定額30万円、④ ○新規就業者住宅費貸付補助、町外から転入する就業者に家賃の1/2(上限2万円)を補助、③・④ ○中古機械購入補助、中古機械購入費の1/3(上限10~50万円)を補助、①・②・③・④ ○農業機械修理補助、農業機械、施設の修繕費の一部を補助(5~30万円)、①・②・③・④・⑤	H28 KPI 目標・結果 【H27からの繰越含む】 【目標】 新規就業者数:1人増 【結果】 新規就業者数:1人増
① 農林水産業の振興	産業振興課	中核的担い手農家育成奨励金(農業生産型活性化事業)	遊休農地の活用や農地集積を更に進めるため、農地中間管理機構で対象外となっている町外の認定農業者に、対して、年額に依り1,000円/10aを助成する。 ○全体事業費 1,250千円(1,000円×1,250a×今年10年間分)	新規	【タイプⅠ】※H27/12月補正計上 【事業内容】本町の農地を守るため、町外農業者が本町の農地を4年以上借り使った場合、奨励金を交付。 (事業費)832,890円 実績額 0円	【計画:C 計画どおりに進んでいる】 【実績】 権利設定面積:12.5ha 権利設定面積:10.2ha	【事業内容】本町の農地を守るため、町外農業者が本町の農地を4年以上借り使った場合、奨励金を交付するもの。 【実績】 権利設定面積8ha	
① 農林水産業の振興	産業振興課	がんばる農業プラン支援事業(農業生産型強化事業)	米の特別栽培によるブランド化を目指し、必要な施設・機働整備費を農家に助成する。 ○全体事業費 4,500千円(県:18,939千円×補助率1/3 ○上限度額3,000千円、町:18,939千円×補助率1/6=上限度額1,500千円)	新規	【タイプⅠ】※H27/9月補正計上 【事業内容】中野弘明 【事業内容】水稲の生産拡大を認めるため、特別栽培米の取組を行う。しかし、町内JAでは特別栽培米を取り扱っていないことから、自身で取組を行い、販売。 【事業費】13,440,000円 【補助金額】4,500,000円(県3,000,000円、町1,500,000円) 実績額 922,890円	【計画:B 計画以上に進んでいる】 【実績】 認定農業者:1名増 認定農業者:4名増	【事業内容】中野弘明 【事業内容】水稲の生産拡大を認めるため、特別栽培米の取組を行う。しかし、町内JAでは特別栽培米を取り扱っていないことから、自身で取組を行い、販売するもの。 【事業費】13,440,000円 【補助金額】4,500,000円(県3,000,000円、町1,500,000円) 実績額 725,000円	
① 農林水産業の振興	産業振興課	もつかる6文化・農商工連携支援事業	商産物に必要経費及び生産等に必要施設、機働整備の経費を助成する。 ○全体事業費 21,929千円(県補助10,500千円、町、補助率1/6、上限度額3,500千円)	新規	【タイプⅠ】※H27/9月補正計上 【事業内容】(株)ネクスティアーム 【事業内容】産物の生産から販売、消費まで行う多角化事業に必要な施設・機働購入及び販路拡大の取組を支援。 (農業用庫庫、水稲乾燥機設備、白米圧搾機、野菜用ハウス、販売促進チラシ) 【事業費】19,730,345円 【補助金額】12,974,768円(県9,731,076、町3,243,682円) 実績額 12,974,768円	【計画:B 計画以上に進んでいる】 【実績】 認定農業者:1名増 認定農業者:4名増	【事業内容】(株)ネクスティアーム 【事業内容】産物の生産から販売、消費まで行う多角化事業に必要な施設・機働購入及び販路拡大の取組を支援。 (田舎、コッパ、水稲乾燥機、乾燥機設備、ハウス、販売促進チラシ等) 【事業費】19,730,345円 【補助金額】13,153,563円(県9,885,172、町3,268,391円) 実績額 989,000円	
① 農林水産業の振興	産業振興課	知的所有権取得支援	町内の名産・特産について、Gマークや商標権、意匠権等の取得・更新に係る調査・研修費用等を助成する。	新規	実績額 0円	【計画】 取得件数:1件	【計画】 取得件数:1件	
① 農林水産業の振興	産業振興課	パッケージデザイナー作成事業	消費者の目立つくパッケージの作成により、農産物の販路拡大を目指す。	新規	実績額 0円	【計画】 作成件数:1件	【計画】 作成件数:1件	

基本目標Ⅰ 活力ある元気なまち

施策	担当課	事業名	事業概要	新採 継続	H27 KPI 目標・結果 【H26からの継続含む】	H27 KPI 事業評価 【H26からの継続含む】	H28 事業内容 【H27からの継続含む】	H28 KPI 目標・結果 【H27からの継続含む】
① 農林水産業の振興	産業振興課	砂丘農業復活プロジェクト事業	農地中間管理事業を活用した利用種設定により、羽合砂丘畑の遊休農地の復活を図る。	新規	【目標】 羽合砂丘畑の遊休農地の稼消を図るため、芝生産の増進を図る。 【結果】 1件農地の権利設定を行った。	【評価】B 計画以上に進んでいる。農地中間管理事業を活用し、(農)みどり生産組合に8haの農地を権利設定。H28年より芝生産増進が期待された。	27年度に引き続き、羽合砂丘畑において、農地中間管理事業を活用し、(農)みどり生産組合に8haの農地を権利設定を行うよう事業推進する。	【目標】 27年度に引き続き、農地中間管理事業を活用し、(農)みどり生産組合に8haの農地を権利設定を行うよう事業推進する。
① 農林水産業の振興	産業振興課	温泉熱を活用した農業・観光分野の2次利用への展開【1:①砂丘産業の復興及び②まちの活性化や③観光の形成にも貢献あり】	温泉熱を活用して農業を行う事業者(農業生産法人、農業協同組合、NPO法人、JA、商工団体等)の取組みに対して支援を行う。	新規	【目標】 1件農地の権利設定を行った。	【評価】B 計画以上に進んでいる。	【目標】 1件農地の権利設定を行った。	【目標】 1件農地の権利設定を行った。
① 農林水産業の振興	産業振興課	種苗放流支援事業	シジミの安定確保を目的に、種苗の育成支援等を行う。	新規	【目標】 シジミ放流量 30tの増 【結果】 94.5t (H26より49.5t増)	【評価】B 計画以上に進んでいる。目標を大きく上回る49.5tの増産であった。H28年度もシジミの増産を期待する。また、産地拡大を目的として、産地拡大を支援する。産地拡大の向上を進め、産地拡大を図る。産地拡大の向上を進め、産地拡大を図る。産地拡大の向上を進め、産地拡大を図る。	【目標】 シジミ放流量 30tの増	【目標】 シジミ放流量 30tの増
① 農林水産業の振興	産業振興課	地域資源商品化支援事業	漁産物の安定した生産を確保するため、種苗放流等の支援を行うとともに、付加価値つけた新たな商品開発(加工商品等)の支援を行う。	新規	【目標】 412,000円 【結果】 739,750円 (補助額)739,750円 × 補助率1/3 = 246,583円	【評価】D 計画より遅れている。2名の事業に対し前回はあつたものの、27年度の事業計画に遅れた。27年度は計画通り進捗している。27年度は計画通り進捗している。27年度は計画通り進捗している。	【目標】 地域おこし協力隊名を雇用し、地域活動に従事。地域活動に従事。地域活動に従事。	【目標】 地域おこし協力隊名を雇用し、地域活動に従事。地域活動に従事。地域活動に従事。
① 農林水産業の振興	産業振興課	港の資源活用事業①【1:③加工業の振興にも貢献あり】	港の資源活用(加工業)の振興を図る。	新規	【目標】 1,092,290円 【結果】 1,092,290円	【評価】D 計画より遅れている。2名の事業に対し前回はあつたものの、27年度の事業計画に遅れた。27年度は計画通り進捗している。27年度は計画通り進捗している。27年度は計画通り進捗している。	【目標】 地域おこし協力隊名を雇用し、地域活動に従事。地域活動に従事。地域活動に従事。	【目標】 地域おこし協力隊名を雇用し、地域活動に従事。地域活動に従事。地域活動に従事。
① 農林水産業の振興	企画課	港の資源活用事業②【1:③加工業の振興にも貢献あり】	港の資源活用(加工業)の振興を図る。	新規	【目標】 1,092,290円 【結果】 1,092,290円	【評価】D 計画より遅れている。2名の事業に対し前回はあつたものの、27年度の事業計画に遅れた。27年度は計画通り進捗している。27年度は計画通り進捗している。27年度は計画通り進捗している。	【目標】 地域おこし協力隊名を雇用し、地域活動に従事。地域活動に従事。地域活動に従事。	【目標】 地域おこし協力隊名を雇用し、地域活動に従事。地域活動に従事。地域活動に従事。
① 農林水産業の振興	産業振興課	沿岸漁業活性化推進事業	漁船用機器等の購入経費(漁船用加工工程)に対して助成する。	新規	【目標】 1,167千円(7,000千円 × 補助率1/6) 【結果】 1,167千円(7,000千円 × 補助率1/6)	【評価】E 計画より遅れている。2名の事業に対し前回はあつたものの、27年度の事業計画に遅れた。27年度は計画通り進捗している。27年度は計画通り進捗している。27年度は計画通り進捗している。	【目標】 地域おこし協力隊名を雇用し、地域活動に従事。地域活動に従事。地域活動に従事。	【目標】 地域おこし協力隊名を雇用し、地域活動に従事。地域活動に従事。地域活動に従事。

13

14

15

16

17

18

19

基本目標1 活力ある元気なまち

施策 担当課	事業名	事業概要	新規 継続	H27 事業実施内容 【H26からの繰越含む】	H27 KPI 目標・結果 【H26からの繰越含む】	H27 KPI 事業評価 【H26からの繰越含む】	H28 事業内容 【H27からの繰越含む】	H28 KPI 目標・結果 【H27からの繰越含む】
① 農 林 水 産 業 の 振 興	産 業 振 興 課	特産品開発推進事業 地域資源の活用しによる新たな特産品開発、PRIに要す る費用を助成する。	新規					
① 農林水産業の振興 計								
				実績額 0円			予算額 0円	
				実績額 27,349,419円			予算額 47,464,563円	

基本目標Ⅰ 活力ある示像なまち

施策	担当課	事業名	事業概要	新規継続	H27 事業実施内容 【H26からの繰越含む】	H27 KPI 目標・結果 【H26からの繰越含む】	H27 KPI 事業評価 【H26からの繰越含む】	H28 事業内容 【H27からの繰越含む】	H28 KPI 目標・結果 【H27からの繰越含む】	
② 観光産業の振興	生涯学習・人権推進課	グラウンダー・ゴルフ国際化及び湖風の丘聖地化の推進①	本町発祥のグラウンダー・ゴルフの国際化、国際大会の開催と国際関係の創設、専用コースである湖風の丘の聖地・ゴルフの歴史の改修整備、ユニバーサル化含む）、グラウンダー・ゴルフの歴史・温泉等を組み合わせた企画商品の開発とPR活動などを、県や他団体と連携しながら強力に推進することにより、本町の「はくい温泉」「真鍮温泉」及び湖風の丘の温泉と観光客の流入を促進し、国際化促進策と地域活性化を図る。 OH27 23,791千円（繰越14,800千円）＋18,991千円） OH28 56,080千円 OH29 19,760千円 OH30 6,900千円 OH31 6,800千円	新規	【先行型】※H27.2月補正計上 ・通訳、翻訳費289千円 ・海外プロモーション活動旅費1,011千円 ・海外招致者の旅費滞在費補助390千円 ・国際化促進PR用具費471千円 ・多言語パンフレット作成102千円 ・国際化促進PR用具送料394千円 ・国際化促進PR用具補助金229千円 ・国際化PR工費635千円 ・国際交流大会運営補助金1,307千円	【目標】 ①グラウンダー・ゴルフ国際交流大会の参加者：100人 ②海外在住者の参加：6人 【結果】 ①グラウンダー・ゴルフ国際交流大会の参加者：149人 ②海外在住者の参加：128人	【評価】B 計画以上に運んでい る ①自費参加者100人、海外在住者の参加6人であったが、結果としては目標を大きく上回り、それぞれ149人、128人であり、グラウンダー・ゴルフの普及を図ることができた。 ②結果をもちに、H28は大会を二日に拡大し、グラウンダー・ゴルフの国際化を図りたい。	【加速化】※H28.2月補正計上 ・海外プロモーション活動旅費3,343千円 ・国際化促進PR用具248千円 ・国際化促進PR用具送料43千円 ・国際交流大会補助金3,647千円	【目標】 ①海外からのイベント参加者数：200人(H28.3月)、500人(H28.3月) ②海外からのイベント参加回数：8万回(H28.3月)、20万回(H28.3月)、110万人(H28.3月)	
② 観光産業の振興	産業振興課	グラウンダー・ゴルフ国際化及び湖風の丘聖地化の推進②	本町発祥のグラウンダー・ゴルフの国際化、国際大会の開催と国際関係の創設、専用コースである湖風の丘の聖地・ゴルフの歴史の改修整備、ユニバーサル化含む）、グラウンダー・ゴルフの歴史・温泉等を組み合わせた企画商品の開発とPR活動などを、県や他団体と連携しながら強力に推進することにより、本町の「はくい温泉」「真鍮温泉」系）及び湖風の丘の温泉と観光客の流入を促進し、国際化促進策と地域活性化を図る。	新規				グラウンダー・ゴルフのふる里公園 湖風の丘とまり クラフハウス等 施設案内(多言語対応)作成費材料 世界の観光人口、G・Gの歴史案内板 施設案内多言語化 G・Gルール DVD作成(多言語対応)	【目標】 ①海外からのイベント参加者数：200人(H28.3月)、500人(H28.3月) ②海外からのイベント参加回数：8万回(H28.3月)、20万回(H28.3月) ③市内観光入込客数：101万人(H28.3月)、110万人(H28.3月)	【加速化】※H28.2月補正計上 予算額 1,500,000円
② 観光産業の振興	健康推進課	ウォーキングリゾート構想の推進及びバンパワードの促進	①ウォーキングリゾート構想の推進として、アジア・ハワイ・オーストラリアのウォーキングコースにおいて、参加者へのおもてなし事業を実施。300千円(4)月補正計上199千円)＝499千円 ②バンパワード・モンゴルの観光客の相互交流促進を図る。300千円 ③ロシアにワーキングリゾートPRイベントを実施する。	新規	【先行型】※H27.2月補正計上 ①アジア・ハワイ・オーストラリアのウォーキングコースにおいて、参加者へのおもてなし事業を実施。300千円(4)月補正計上199千円)＝499千円 ②韓国・欧州オラル大会に参加し、湯梨浜町のウォーキングPRイベント。 ③マルペンバ、高梁をテーマに行った。ソウルのPRを行った。 【加速化】※H28.2月補正計上 H28.3月に九州オラルの理事を招いて講演会を開催し、今後の交流に向けた協議を行った。	【目標】 ①ウォーキングで訪れるウォーキング大会への韓国からの年間参加者：100人 ②韓国で行われるウォーキング大会への韓国、中国、ロシアからの年間参加者：116人	【評価】B 計画以上に運んでい る ①ウォーキング大会への韓国からの年間参加者100人を超えたことで、ウォーキング大会への韓国からの年間参加者が増えた。	【加速化】※H28.2月補正計上 予算額 0円	【目標】 ①海外からのイベント参加者数：200人(H28.3月)、500人(H28.3月) ②海外からのイベント参加回数：8万回(H28.3月)、20万回(H28.3月) ③市内観光入込客数：101万人(H28.3月)、110万人(H28.3月)	
② 観光産業の振興	健康推進課	ワールドトレイルズカンفرنス事業	H27アジア・トレイルズカンفرنス負担金(PPチャラ、の)の割り、事務運営費含む。) (H28：ワールドトレイルズカンفرنス) ※H28年度分：185千円、H27年度分補正：930千円	新規	【先行型】※H27.2月補正計上 H27アジア・トレイルズカンفرنス負担金(PPチャラ、の)の割り、事務運営費含む。) ①放牧店舗等による共同イベント開催・提供とスタッフの一部実施。アロハサ(20店舗)、アロハサ(4店舗)、アロハサ(4店舗)、アロハサ(5店舗)計17店舗、総合計参加店舗159名、アロハサ(11)店舗計673名、総合計参加222店舗、4,240名。②期間中開催されるスポーツイベントをハワイコナコービーの施設(18日・34名)、③はわい、理良、東海温泉沿いのWP(15)イベント企画、④アロハサコミュニティイベントの中心企画、⑤スタンプアップイベント実施207名	【目標】 ①ワーキングフェスティバル東京コース(本町コース)の参加者数：500人 ②ワーキングフェスティバル東京コース(本町コース)の参加者数：670人	【評価】B 計画以上に運んでい る ①ワーキングフェスティバル東京コース(本町コース)の参加者数1,000人には満たなかったが、目標を達成することができた。	【加速化】※H28.2月補正計上 H28ワールドトレイルズカンفرنス負担金	【目標】 ①年間観光入込客数：2,300,000人 ②年間観光宿泊客数：586,500人 ③年間外国人宿泊客数：18,000人 中部エリア(H31.3月) ④年間観光入込客数：2,500,000人 ⑤年間観光宿泊客数：600,000人 ⑥年間外国人宿泊客数：20,000人	
② 観光産業の振興	産業振興課	アロハワーニール事業(【1】③)の推進	本町にある新市街地のハワイの知名度を活かした期間限定の取り組みとして、ハワイ県にアロハワーニールを設け、素材を活用した料理メニュー開発、提供を行い、スタッフの連携性を高めることにも飲食店の集まりと地域活性化を図る。	新規	【先行型】※H27.2月補正計上 ①放牧店舗等による共同イベント開催・提供とスタッフの一部実施。アロハサ(20店舗)、アロハサ(4店舗)、アロハサ(4店舗)、アロハサ(5店舗)計17店舗、総合計参加店舗159名、アロハサ(11)店舗計673名、総合計参加222店舗、4,240名。②期間中開催されるスポーツイベントをハワイコナコービーの施設(18日・34名)、③はわい、理良、東海温泉沿いのWP(15)イベント企画、④アロハサコミュニティイベントの中心企画、⑤スタンプアップイベント実施207名	【目標】 ①新メニュー提供店舗数：18店舗(38%増) ②新メニュー提供数：2,000食(25%増) 【結果】 ①新メニュー提供店舗数：22店舗(70%増) ②新メニュー提供数：4,240食(160%増)	【評価】B 計画以上に運んでい る ①新メニュー提供店舗18店舗、②新メニュー提供数2,000食であったが、目標を上回る成果を挙げた。新メニュー提供店舗が運営で、販売はアロハサと協力して、新メニューの提供を促す。	【加速化】※H28.2月補正計上 アロハワーニール、ハワイの知名度を活かした取り組みとして、ハワイ県にアロハワーニールを設け、素材を活用した料理メニュー開発、提供し、販促イベントとあわせて町内の連携性を高める。①新メニュー開発・イベント開催期間中(10月7日～10月17日)期間限定メニュー(アロハワーニール)の提供(150,000円)、②スタンプラリー(50,000円)、③イベントPR(印刷代、広告費)等の事務費	【目標】 ①年間観光入込客数：2,300,000人 ②年間観光宿泊客数：586,500人 ③年間外国人宿泊客数：18,000人 中部エリア(H31.3月) ④年間観光入込客数：2,500,000人 ⑤年間観光宿泊客数：600,000人 ⑥年間外国人宿泊客数：20,000人	

26	②観光産業の振興	企画課	天女のふる里づくり事業	事業概要 東郷湖・東郷湖を軸とした事業を年次別ご計画し、新たに東郷湖のコンポジットとして設定した天女によるまちづくりを推進的に推進する。 ※アクションプログラムの期間はH24～28まで H26(継続) ハナズキ駅隣地220千円 H27 11,895千円のまち盛り起し関連 10,716千円 H28 旅業(諏州市天女サミット、イベント参加費)300千円、グッズ等作成600千円	新規継続	H27 事業実施内容 【H26からの継続含む】 天女広場を活用し、東郷湖を中心とするまちづくりを進めた。 関係自治体との連携やイベント等を行った。 ◆ハナズキ、東郷湖福祉館329千円 ◆天女コミュニティ制作費5,688千円 ◆天女広場椅子集約1,490千円 ◆コンテナのリース(天女センター制作費・消耗品・印刷)425千円 ◆天女コミュニティ制作費1,000千円 ◆東郷湖未来創造会議14,000千円	H27 KPI 目標・結果 【H26からの継続含む】 【目標】 ①天女コミュニティ設置:1基 ②天女サミット等のイベント参加:3回	H28 事業内容 【H27からの継続含む】 天女のまちイメージ刷新に向け、天女コミュニティを完成させるほか、天女サミット開催市街の環境強化を図る。また、今後さらなる住民参加に向け、東郷湖未来創造会議の新たな展開を推し進める。 ◆東郷湖未来創造会議200千円 ◆天女コミュニティ設置費(旅業、消耗品、郵券)418千円 ◆天女サミット準備費(旅業、消耗品、消耗品)506千円 ◆フワァーロード推進等(原材料、消耗品)506千円 予算額 1,443,000円	H28 KPI 目標・結果 【H27からの継続含む】 【目標】 ①天女コミュニティ設置:1基 ②天女サミット等のイベント参加:3回
27	②観光産業の振興	産業振興課	温泉水を活用したスポーツ産業振興事業	はわい温泉、東郷湖温泉の泉質の定評は名産品である。したがって、利用客の増加や、宿泊客の増加、比較的安価で、観光客等に人気がある温泉施設を推進することで、他との差別化を図り、温泉振興を推進する。	新規	H27 KPI 目標・結果 【H26からの継続含む】 【目標】 ①天女コミュニティ設置:1基 ②天女サミット等のイベント参加:3回 【結果】 ①年度内に事業完了。(平成28年度へ繰越) ②京丹後市、高石市、五野高市イベントへ参加	H28 事業内容 【H27からの継続含む】 天女のまちイメージ刷新に向け、天女コミュニティを完成させるほか、天女サミット開催市街の環境強化を図る。また、今後さらなる住民参加に向け、東郷湖未来創造会議の新たな展開を推し進める。 ◆東郷湖未来創造会議200千円 ◆天女コミュニティ設置費(旅業、消耗品、郵券)418千円 ◆天女サミット準備費(旅業、消耗品、消耗品)506千円 ◆フワァーロード推進等(原材料、消耗品)506千円 予算額 1,443,000円	H28 KPI 目標・結果 【H27からの継続含む】 【目標】 ①天女コミュニティ設置:1基 ②天女サミット等のイベント参加:3回	
28	②観光産業の振興	産業振興課	温泉熱を活用した温泉・観光分界の2次利用へ関係自治体との連携やイベント等を行った。	温泉熱を活用して事業を行う事業者(農業生産法人、農業生産者、NPO法人、JA、商工団体等)の取組みに対し支援を行う。	新規	【目標】 天女のまちイメージ刷新に向け、天女コミュニティを完成させるほか、天女サミット開催市街の環境強化を図る。また、今後さらなる住民参加に向け、東郷湖未来創造会議の新たな展開を推し進める。 ◆東郷湖未来創造会議200千円 ◆天女コミュニティ設置費(旅業、消耗品、郵券)418千円 ◆天女サミット準備費(旅業、消耗品、消耗品)506千円 ◆フワァーロード推進等(原材料、消耗品)506千円 予算額 1,443,000円	H28 事業内容 【H27からの継続含む】 天女のまちイメージ刷新に向け、天女コミュニティを完成させるほか、天女サミット開催市街の環境強化を図る。また、今後さらなる住民参加に向け、東郷湖未来創造会議の新たな展開を推し進める。 ◆東郷湖未来創造会議200千円 ◆天女コミュニティ設置費(旅業、消耗品、郵券)418千円 ◆天女サミット準備費(旅業、消耗品、消耗品)506千円 ◆フワァーロード推進等(原材料、消耗品)506千円 予算額 1,443,000円	H28 KPI 目標・結果 【H27からの継続含む】 【目標】 ①天女コミュニティ設置:1基 ②天女サミット等のイベント参加:3回	
29	②観光産業の振興	産業振興課	観光地における情報発信の取組みの推進を図る。	観光地における情報発信の取組みの推進を図るため、町内の観光振興推進協議会が中心となり、観光振興会(観光振興会)の設立を図る。観光振興会の設立費として、町内の観光振興推進協議会が中心となり、観光振興会(観光振興会)の設立を図る。観光振興会の設立費として、町内の観光振興推進協議会が中心となり、観光振興会(観光振興会)の設立を図る。	新規	【目標】 天女のまちイメージ刷新に向け、天女コミュニティを完成させるほか、天女サミット開催市街の環境強化を図る。また、今後さらなる住民参加に向け、東郷湖未来創造会議の新たな展開を推し進める。 ◆東郷湖未来創造会議200千円 ◆天女コミュニティ設置費(旅業、消耗品、郵券)418千円 ◆天女サミット準備費(旅業、消耗品、消耗品)506千円 ◆フワァーロード推進等(原材料、消耗品)506千円 予算額 1,443,000円	H28 事業内容 【H27からの継続含む】 天女のまちイメージ刷新に向け、天女コミュニティを完成させるほか、天女サミット開催市街の環境強化を図る。また、今後さらなる住民参加に向け、東郷湖未来創造会議の新たな展開を推し進める。 ◆東郷湖未来創造会議200千円 ◆天女コミュニティ設置費(旅業、消耗品、郵券)418千円 ◆天女サミット準備費(旅業、消耗品、消耗品)506千円 ◆フワァーロード推進等(原材料、消耗品)506千円 予算額 1,443,000円	H28 KPI 目標・結果 【H27からの継続含む】 【目標】 ①天女コミュニティ設置:1基 ②天女サミット等のイベント参加:3回	
30	②観光産業の振興	産業振興課	名探偵コナン・ミステリアリアンファンミーティング	名探偵コナン・ミステリアリアンファンミーティング	新規	【目標】 天女のまちイメージ刷新に向け、天女コミュニティを完成させるほか、天女サミット開催市街の環境強化を図る。また、今後さらなる住民参加に向け、東郷湖未来創造会議の新たな展開を推し進める。 ◆東郷湖未来創造会議200千円 ◆天女コミュニティ設置費(旅業、消耗品、郵券)418千円 ◆天女サミット準備費(旅業、消耗品、消耗品)506千円 ◆フワァーロード推進等(原材料、消耗品)506千円 予算額 1,443,000円	H28 事業内容 【H27からの継続含む】 天女のまちイメージ刷新に向け、天女コミュニティを完成させるほか、天女サミット開催市街の環境強化を図る。また、今後さらなる住民参加に向け、東郷湖未来創造会議の新たな展開を推し進める。 ◆東郷湖未来創造会議200千円 ◆天女コミュニティ設置費(旅業、消耗品、郵券)418千円 ◆天女サミット準備費(旅業、消耗品、消耗品)506千円 ◆フワァーロード推進等(原材料、消耗品)506千円 予算額 1,443,000円	H28 KPI 目標・結果 【H27からの継続含む】 【目標】 ①天女コミュニティ設置:1基 ②天女サミット等のイベント参加:3回	
31	②観光産業の振興	産業振興課	水明荘経営改善事業	水明荘経営改善事業	新規	【目標】 天女のまちイメージ刷新に向け、天女コミュニティを完成させるほか、天女サミット開催市街の環境強化を図る。また、今後さらなる住民参加に向け、東郷湖未来創造会議の新たな展開を推し進める。 ◆東郷湖未来創造会議200千円 ◆天女コミュニティ設置費(旅業、消耗品、郵券)418千円 ◆天女サミット準備費(旅業、消耗品、消耗品)506千円 ◆フワァーロード推進等(原材料、消耗品)506千円 予算額 1,443,000円	H28 事業内容 【H27からの継続含む】 天女のまちイメージ刷新に向け、天女コミュニティを完成させるほか、天女サミット開催市街の環境強化を図る。また、今後さらなる住民参加に向け、東郷湖未来創造会議の新たな展開を推し進める。 ◆東郷湖未来創造会議200千円 ◆天女コミュニティ設置費(旅業、消耗品、郵券)418千円 ◆天女サミット準備費(旅業、消耗品、消耗品)506千円 ◆フワァーロード推進等(原材料、消耗品)506千円 予算額 1,443,000円	H28 KPI 目標・結果 【H27からの継続含む】 【目標】 ①天女コミュニティ設置:1基 ②天女サミット等のイベント参加:3回	

基本目標Ⅰ 活力ある元気なまち

実施	担当課	事業名	事業概要	新採 継続	H27 KPI 目標・結果 【H26からの継続含む】	H27 事業評価面 【H26からの継続含む】	H28 事業内容 【H27からの継続含む】	H28 KPI 目標・結果 【H27からの継続含む】
32	観光産業の振興	観光施設等への外国語表記推進	市内観光施設等の外国語表記を行い、インバウンドを推進する。	新規	H27計画に基づき改善を行う。	H27 事業実施内容 【H26からの継続含む】	H28 事業内容 【H27からの継続含む】	H28 KPI 目標・結果 【H27からの継続含む】
	産業振興課	観光地域づくりの推進(広算連携)①	観光地域づくりの推進(広算連携)① MOの核として位置づけ、構成団体等の関係機関との役割分担を整理するとともに連携を深め、地域のコーディネート機能を果たす(外国人を含めた)旅行者の受入れを最優先することができる。また、観光イベント(継続ひいスツアール)やセミナー等の婚活事業を実施。 ○全体事業費 3,681千円(広算連携事業全体額20,817千円)	新規	【タイプ1】※H27.12月補正計上 鳥取県中部圏及び岡山県岡山地域との連携を強め、観光資源の共有及び両地域間の連携等による広域観光地の活性化を図るため、情報発信や受入連携整備、各種観光事業を行う。 ①もてなし・受入連携整備 ②温泉地イメージ戦略事業 ③情報発信事業 ④プロモーション推進事業 ⑤観光戦略事業	H27 KPI 目標・結果 【H26からの継続含む】	H28 事業内容 【H27からの継続含む】	H28 KPI 目標・結果 【H27からの継続含む】
33	観光産業の振興	観光地域づくりの推進(広算連携)②	観光地域づくりの推進(広算連携)② DMOの推進(広算連携)②	新規	【タイプ1】※H27.12月補正計上 鳥取県中部圏及び岡山県岡山地域との連携を強め、観光資源の共有及び両地域間の連携等による広域観光地の活性化を図るため、情報発信や受入連携整備、各種観光事業を行う。 ①もてなし・受入連携整備 ②温泉地イメージ戦略事業 ③情報発信事業 ④プロモーション推進事業 ⑤観光戦略事業	H27 KPI 目標・結果 【H26からの継続含む】	H28 事業内容 【H27からの継続含む】	H28 KPI 目標・結果 【H26からの継続含む】
34	観光産業の振興	観光地域づくりの推進(広算連携)③	観光地域づくりの推進(広算連携)③ DMOの推進(広算連携)③	新規	【タイプ1】※H27.12月補正計上 鳥取県中部圏及び岡山県岡山地域との連携を強め、観光資源の共有及び両地域間の連携等による広域観光地の活性化を図るため、情報発信や受入連携整備、各種観光事業を行う。 ①もてなし・受入連携整備 ②温泉地イメージ戦略事業 ③情報発信事業 ④プロモーション推進事業 ⑤観光戦略事業	H27 KPI 目標・結果 【H26からの継続含む】	H28 事業内容 【H27からの継続含む】	H28 KPI 目標・結果 【H26からの継続含む】
35	観光産業の振興	観光地域づくりの推進(広算連携)④	観光地域づくりの推進(広算連携)④ DMOの推進(広算連携)④	新規	【タイプ1】※H27.12月補正計上 鳥取県中部圏及び岡山県岡山地域との連携を強め、観光資源の共有及び両地域間の連携等による広域観光地の活性化を図るため、情報発信や受入連携整備、各種観光事業を行う。 ①もてなし・受入連携整備 ②温泉地イメージ戦略事業 ③情報発信事業 ④プロモーション推進事業 ⑤観光戦略事業	H27 KPI 目標・結果 【H26からの継続含む】	H28 事業内容 【H27からの継続含む】	H28 KPI 目標・結果 【H26からの継続含む】

基本目標1 活力ある元気なまち

36	③ 商工業の振興	担当課 産業振興課	事業名 ゆりはまじげ産業支援事業	事業概要 運動広場の温泉水を活用したスパリゾート事業などの新商品の開発や新事業による6次産業化など、やる気のある町内企業等の事業展開を応援するため、起業、新分野への進出、新技術や新製品の開発などを進め、必要に応じて必要な経費の一部を補助する。 事業費=2,000千円×3事業者	新規継続 新規	H27 事業実施内容 【H26からの継続含む】 【先行型】※H27月補正計上 町内で起業や新事業に取り組み事業者に対して必要経費の一部を補助。 ■サカナワイ屋=移動販売車購入、新商品開発2,941,717円 ■はわい温泉・東郷温泉旅館組合=スズパ、養鶏3,002,686円	H27 KPI 目標・特長 【H26からの継続含む】 【目標】 新規製品開発等に取組中の案件:2件 【結果】 新規製品開発等に取組中の案件:2件	H28 事業内容 【H27からの継続含む】 町内での起業や新事業に取り組み事業者に対して必要経費の一部を補助する。 ■事業者への補助金 3,000千円×2事業者	H28 KPI 目標・特長 【H27からの継続含む】 【目標】 起業や新事業への取り組みの支援:2件
37	③ 商工業の振興	産業振興課	里山オフィス開設支援事業	事業概要 移住定住を伴った小規模なIT・コンテンツ関係事業の事務所開設費用の一部を補助。県制度の上乗せ分として実施し、事業者が他市町内より有利な条件を提示する。 事業費=1,000千円×1事業者	新規	【先行型】※H27月補正計上 県制度の担当部署と連携し、相談体制を構築した。しかし、具体的な企業誘致にはつながっていない。	【評価】C 計画とおりに進んでいる。 【結果】 新規製品開発等に取組中の案件:2件	【評価】D 計画より遅れている。 【結果】 新規製品開発等に取組中の案件:2件	【目標】 移住定住を伴った小規模なIT・コンテンツ関係事業の事務所開設費用の一部を補助。県制度の上乗せ分として実施する。内関係部署との相談体制の確立
38	③ 商工業の振興	産業振興課	子ちゃんズショップ支援事業【1:6活用推進にも記載あり】	事業概要 町内の空き店舗を借りて事業を行う場合にその賃借料を補助する。 ※制度改正により改修費も補助対象にすることを検討したが、現行の制度を継続したい。 (理由)本制度を活用するのは経営の継続が少ない事業者であるため開店のリスクが大きい。このように事業者に対しては多額の改修費を補助するのではなく、町内企業を交流した経営推進などの人物支援を重視し経営の安定化を図るべきであると考え。	新規	H26からの継続1事業者、H27に新規2事業者に対して、賃借料の1/2を補助金として交付した。 ■ベネッセ(H26継続)=97,500円 ■ベネッセ(外=専)=H27(新規)=200,000円 ■HAKUSEN(H27(新規))=315,000円	【目標】 町内の空き店舗を借りて事業を行う場合にその賃借料を補助する。 【結果】 賃借料:1件 新規分:1件 【結果】 賃借料:1件 新規分:2件	町内の空き店舗を借りて事業を行う場合にその賃借料を補助する。 【目標】 賃借料:2件 新規分:1件	【評価】B 計画以上に進んでいる。 【結果】 新規分について、目標以上となる4件の新規開業があった。
39	③ 商工業の振興	産業振興課	アロハワーニャル事業【再掲】 【1:2推進推進にも記載あり】	事業概要 本町にある河合地域のハワイの知名度を活かした地元産物の取組として、ハワイ風のアレンジした地元産品を素材とした料理メニュー開発、提供を行い、スタンプラリー等の経営管理の取組を行い、本町への観光客の誘客性を高めるとともに飲食店の集積と地域の活性化を図る。	新規	【先行型】※H27月補正計上 ①飲食店等によるメニュー開発、提供とスタンプラリーの実施。アロハガ(20店舗・3,408食)、アロハバーガー(4店舗・159食)、アロハスウィーツ(15店舗・973食)、総合計:参加222店舗、4,240食。②期間中開催されるスポーツイベントのハワイ風メニューの販売(計8日・344食)。③はわい温泉・東郷温泉旅館組合のW/プレゼント企画。④アロハコミュニティセンター企画のミニイベント企画の設置。⑤スタンドアットハダール体207名	【目標】 ①新メニュー提供店舗数:18店舗(38%増) ②新メニュー提供数:2,000食(25%増) 【結果】 ①新メニュー提供店舗数:22店舗(70%増) ②新メニュー提供数:4,240食(180%増)	【評価】B 計画以上に進んでいる。 【結果】 ①新メニュー提供店舗数:18店舗(38%増) ②新メニュー提供数:2,000食(25%増)	【目標】 ①新メニュー提供店舗数:18店舗(38%増) ②新メニュー提供数:2,000食(25%増)
40	③ 商工業の振興	産業振興課	家業継承者支援事業	事業概要 【町民からの要望による】 親や祖父の家業を継いだりの方に対し、何らかの支援、優遇策を設ける。	新規	家業継承による設備投資を行う場合、既存事業(ゆりはまじげ産業支援事業)を拡張して支援を行うように制度改正した。また相談があった場合、専門機関(鳥取県家業支援センター)につなげる体制を構築した。	【目標】 家業継承による設備投資を行う場合、既存事業(ゆりはまじげ産業支援事業)を拡張して支援を行う。また相談があった場合、専門機関(鳥取県家業支援センター)につなげる体制を構築した。	【評価】C 計画とおりに進んでいる。 相談体制の構築と既存補助制度の拡張を行った。	【目標】 家業継承による設備投資を行う場合、既存事業(ゆりはまじげ産業支援事業)を拡張して支援を行う。また相談があった場合、専門機関(鳥取県家業支援センター)につなげる体制を構築した。
41	③ 商工業の振興	産業振興課	ふるさと名物応援事業	事業概要 町商工会が行う名物応援事業の支援 ふるさと名物応援商品により、地域を挙げて応援する地域資源を活用した商品「サトウ七」の開発製造、販路開拓などを支援する。国が1事業者あたり1,000千円/1年、補助率2/3で補助する。この際1売上する1/3の事業者負担の半分の補助が補助する。 ※4事業者が国の補助金を活用すると想定。 事業費=5,000千円×1/3×1/2×4事業者=334千円	新規	平成29年1月15日によるふるさと名物応援事業を行った。町内4事業者が行った名物応援事業がスタート。国から事業計画の認定を受けた。	【目標】 町商工会や町内事業者と連携し、ふるさと名物応援商品を行う。	【評価】B 計画以上に進んでいる。 【結果】 平成29年1月15日にふるさと名物応援商品を行った。	【目標】 国の補助金を活用した4事業者が、本格的にふるさと名物応援事業を展開し、具体的な事業内容が固まり次第、町として必要な支援(ふるさと名物応援商品の活用など)を行っている。

基本目標Ⅰ 活力ある元気なまち

<p>42</p>	<p>③ 商工業の振興</p>	<p>担当課 町民課</p>	<p>事業名 環境創出プロジェクト事業</p>	<p>事業概要 本町は、新3K(環境・健康・経済)創出プロジェクトとして、環境事業を用いたまちづくりを推進する。町民から生ごみを回収し、それをリサイクルした堆肥を用いた農業用の培養土等の商品化を行い販売する。これにより住民参加と生物を土に返すことによるイメージアップ、企業との連携によるエコブランドの販路開拓を図る。対象事業費3,097千円(委託料: 1,800千円、役務費: 14,005千円、補助金: 60千円、補助金: 12,293千円) ※H27.11月以降修正計上予定(04-02-01-0012-13-01から予算組み替え)</p>	<p>新規継続 新規</p>	<p>H27 KPI 目標・結果 【H28からの継続含む】 生ごみ回収協力区の拡大 H27当初 11区 ⇒ H27末 11区</p>	<p>H28 KPI 目標・結果 【H27からの継続含む】 生ごみ回収協力区の拡大 H27末 11区 ⇒ H28末 12区以上</p>	<p>H28 事業内容 【H27からの継続含む】 町民から生ごみを回収し、これを活用し農業用の有機液肥(肥料)や培養土として販売する。また、その他車道支所に液肥タンクを設置し、町民に無料配布する。これにより住民参加と生物を土に返すことによるイメージアップ、企業との連携によるエコブランドの販路開拓を図る。対象事業費1,000千円(委託料: 生ごみリサイクル活用事業) O全体事業費 1,500千円 役務費 28千円 委託料 12,280千円 補助金 100千円 予算額 3,100,000円</p>	<p>【評価】計画より進んでいる。町民から生ごみを回収し、これを活用し農業用の有機液肥(肥料)や培養土として販売する。また、その他車道支所に液肥タンクを設置し、町民に無料配布する。これにより住民参加と生物を土に返すことによるイメージアップ、企業との連携によるエコブランドの販路開拓を図る。対象事業費1,000千円(委託料: 生ごみリサイクル活用事業) O全体事業費 1,500千円 役務費 28千円 委託料 12,280千円 補助金 100千円 予算額 3,100,000円</p>
<p>43</p>	<p>③ 商工業の振興</p>	<p>担当課 産業振興課</p>	<p>港の資源振興事業①(企画) 【1: ①養殖水産業の振興にも応答あり】</p>	<p>港の駅、さかなクワイヤ、地域おこし協力隊(事業費は、基本目標Ⅲ、②まちのにさわい創出や拠点の形成に計上)</p>	<p>新規</p>	<p>H27 KPI 目標・結果 【H28からの継続含む】 地域おこし協力隊任用: 2名 【結果】 任用: 1名</p>	<p>H28 KPI 目標・結果 【H27からの継続含む】 地域おこし協力隊任用: 2名(平成27年度任用者含む)</p>	<p>地域おこし協力隊を雇用し、地域活動に従事。地域の活力向上を図る。 ◆協力隊2名分報酬等 4,642千円 ◆消耗品 15千円 ◆活動費 3,342千円 予算額 7,999,000円</p>	<p>【評価】計画より進んでいる。2名の募集に対し応募はあったものの、選考の結果任用に至らなかった。平成28年度に再度募集を行い、地域おこし協力隊の積極的な活用を目指す。 予算額 7,999,000円</p>
<p>44</p>	<p>③ 商工業の振興</p>	<p>担当課 企画課</p>	<p>港の資源振興事業②(企画) 【1: ①養殖水産業の振興にも応答あり】</p>	<p>港の駅、さかなクワイヤ、地域おこし協力隊(事業費は、基本目標Ⅲ、②まちのにさわい創出や拠点の形成に計上)</p>	<p>新規</p>	<p>H27 KPI 目標・結果 【H28からの継続含む】 地域おこし協力隊任用: 2名 【結果】 任用: 1名</p>	<p>H28 KPI 目標・結果 【H27からの継続含む】 地域おこし協力隊任用: 2名(平成27年度任用者含む)</p>	<p>地域おこし協力隊2名雇用し、地域活動に従事。地域の活力向上を図る。 ◆協力隊2名分報酬等 4,642千円 ◆消耗品 15千円 ◆活動費 3,342千円 予算額 7,999,000円</p>	<p>【評価】計画より進んでいる。2名の募集に対し応募はあったものの、選考の結果任用に至らなかった。平成28年度に再度募集を行い、地域おこし協力隊の積極的な活用を目指す。 予算額 7,999,000円</p>
<p>45</p>	<p>③ 商工業の振興</p>	<p>担当課 産業振興課</p>	<p>アメリカ合衆国ハワイ郡との姉妹都市提携を活用し、オリジナルの商品開発を行う。</p>	<p>町とハワイ郡との姉妹都市提携を活用し、オリジナルの商品開発を行う。</p>	<p>新規</p>	<p>H27 KPI 目標・結果 【H28からの継続含む】 商品の具体案の作成 【結果】 協議を重ねて検討したが、実現には至らなかった</p>	<p>H28 KPI 目標・結果 【H27からの継続含む】 商品開発の発案に向けてのハードルが高いが、実現に向けて検討していく。</p>	<p>町民から生ごみを回収し、これを活用し農業用の有機液肥(肥料)や培養土として販売する。また、その他車道支所に液肥タンクを設置し、町民に無料配布する。これにより住民参加と生物を土に返すことによるイメージアップ、企業との連携によるエコブランドの販路開拓を図る。対象事業費1,000千円(委託料: 生ごみリサイクル活用事業) O全体事業費 1,500千円 役務費 28千円 委託料 12,280千円 補助金 100千円 予算額 3,100,000円</p>	<p>【評価】計画より進んでいる。協議を重ねて商品を検討したが、実現には至らなかった。 予算額 0円</p>
<p>46</p>	<p>③ 商工業の振興</p>	<p>担当課 教育総務課</p>	<p>中学校統合に伴う北原中学校及び東部中学校の跡地利用計画の策定</p>	<p>中学校の統合に伴い現在ある中学校の跡地利用計画の策定を行う。 中学校統合 平成31年度 現在の中学校の解体 平成31年度 跡地利用策定 平成30年度までに計画</p>	<p>新規</p>	<p>H27 KPI 目標・結果 【H28からの継続含む】 教育委員会及び行政関係と跡地利用の策定方法等について協議を進めたい。</p>	<p>H28 KPI 目標・結果 【H27からの継続含む】 教育委員会及び行政関係と跡地利用の策定方法等について協議を進めたい。</p>	<p>予算額 0円 実績額 0円</p>	<p>予算額 0円 実績額 27,433,000円</p>

③商工業の振興 計

基本目標Ⅰ 活力ある元気なまち

実施	担当課	事業名	事業概要	新規 継続	H27 事業実施内容 【H26からの継続含む】	H27 KPI 目標・結果 【H26からの継続含む】	H27 KPI 事業計画 【H26からの継続含む】	H28 事業内容 【H27からの継続含む】	H28 KPI 目標・結果 【H27からの継続含む】
47	教育総務課	④ 雇用の推進	看護師、保育士、奨学金助成事業(ふるさと奨学金、奨励奨励成事業)、奨励奨励成事業(Ⅲ、Ⅳ)の移住定住の推進(も記載あり)	新規	H27 事業実施内容 【H26からの継続含む】 H26からの継続(奨励)事業者H27に新規2事業者に対して、賃借料の1/2を奨励金として交付した。 ■Repos(H26継続)＝87,500円 ■お茶屋処へ帰～(H27新規)＝200,000円 ■HAKUSEN(H27新規)＝315,000円	【目標】 継続分:1件 新規分:1件 【結果】 継続分:1件 新規分:2件	【計画】B 計画以上に進んでいる 新規分について、目標以上となる2件の新規計画があった。	H28 事業内容 【H27からの継続含む】 ふるさと奨学金支援助成事業(広報及び奨励)の認定者へ個別案内する。	【目標】 継続分:2件 新規分:1件
48	産業振興課	④ 雇用の推進	チャレンジ・アップ支援(奨励)会(再掲)【Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ】の推進(も記載あり)	新規	H27 事業実施内容 【H26からの継続含む】 H26からの継続(奨励)事業者H27に新規2事業者に対して、賃借料の1/2を奨励金として交付した。 ■Repos(H26継続)＝87,500円 ■お茶屋処へ帰～(H27新規)＝200,000円 ■HAKUSEN(H27新規)＝315,000円	【目標】 継続分:1件 新規分:1件 【結果】 継続分:1件 新規分:2件	【計画】B 計画以上に進んでいる 新規分について、目標以上となる2件の新規計画があった。	H28 事業内容 【H27からの継続含む】 ふるさと奨学金支援助成事業(広報及び奨励)の認定者へ個別案内する。	【目標】 継続分:2件 新規分:1件
49	産業振興課	④ 雇用の推進	雇用促進奨励金事業	新規	H27 事業実施内容 【H26からの継続含む】 H26からの継続(奨励)事業者H27に新規2事業者に対して、賃借料の1/2を奨励金として交付した。 ■Repos(H26継続)＝87,500円 ■お茶屋処へ帰～(H27新規)＝200,000円 ■HAKUSEN(H27新規)＝315,000円	【目標】 継続分:1件 新規分:1件 【結果】 継続分:1件 新規分:2件	【計画】B 計画以上に進んでいる 新規分について、目標以上となる2件の新規計画があった。	H28 事業内容 【H27からの継続含む】 ふるさと奨学金支援助成事業(広報及び奨励)の認定者へ個別案内する。	【目標】 継続分:2件 新規分:1件
50	産業振興課	④ 雇用の推進	就職情報提供事業	新規	H27 事業実施内容 【H26からの継続含む】 H26からの継続(奨励)事業者H27に新規2事業者に対して、賃借料の1/2を奨励金として交付した。 ■Repos(H26継続)＝87,500円 ■お茶屋処へ帰～(H27新規)＝200,000円 ■HAKUSEN(H27新規)＝315,000円	【目標】 継続分:1件 新規分:1件 【結果】 継続分:1件 新規分:2件	【計画】B 計画以上に進んでいる 新規分について、目標以上となる2件の新規計画があった。	H28 事業内容 【H27からの継続含む】 ふるさと奨学金支援助成事業(広報及び奨励)の認定者へ個別案内する。	【目標】 継続分:2件 新規分:1件
51	産業振興課	④ 雇用の推進	中部圏域への企業誘致(奨励)事業(Ⅲ、Ⅳ)の推進(も記載あり)	新規	H27 事業実施内容 【H26からの継続含む】 H26からの継続(奨励)事業者H27に新規2事業者に対して、賃借料の1/2を奨励金として交付した。 ■Repos(H26継続)＝87,500円 ■お茶屋処へ帰～(H27新規)＝200,000円 ■HAKUSEN(H27新規)＝315,000円	【目標】 継続分:1件 新規分:1件 【結果】 継続分:1件 新規分:2件	【計画】B 計画以上に進んでいる 新規分について、目標以上となる2件の新規計画があった。	H28 事業内容 【H27からの継続含む】 ふるさと奨学金支援助成事業(広報及び奨励)の認定者へ個別案内する。	【目標】 継続分:2件 新規分:1件

④雇用の推進 計

基本目標Ⅰ 合計

基本目標Ⅱ 安心して暮らせるまち

湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略 具体的事業一覧

施策	担当課	事業名	事業概要	新規 継続	H27 事業実施内容 【H26からの継続含む】	H27 KPI 目標・結果 【H26からの継続含む】	H27 KPI 事業評価 【H26からの継続含む】	H28 事業内容 【H27からの継続含む】	H28 KPI 目標・結果 【H27からの継続含む】
① 子育て環境の推進	子育て支援課	家庭子育て支援事業	低年帯児(満1歳6か月までの乳幼児)の家庭子育ての支援 生後8週を超え満1歳6か月までの乳児を、居間家庭で子育てを支援する取り組みに対し、給付金を支給。 育児休業給付金(手当)を受けたい期間を除く。 1月30,000円。H28年度は、1月31日までの支給対象期間分を支給。 H27年度は、満歳未満まで。 【H28～31計画額】122,356千円 H28 30,556千円 H29～31 30,600千円×3年=91,800千円	新規	【先行型】※H27.2月補正計上 生後8週を超え満1歳6か月までの乳児を、居間家庭で子育てを支援する取り組みに対し、給付金を支給。 1月30,000円。H28年度は、1月31日までの支給対象期間分を支給。 H27年度は、満歳未満まで。 【H28～31計画額】122,356千円 H28 30,556千円 H29～31 30,600千円×3年=91,800千円	【目標】 0歳児の家庭での保育率:40% (7%増) 【結果】 0歳児の家庭での保育率: 59.7%(26.7%増)	【評価】 計画どおりに進んでいる。 0歳児の家庭での保育率:40% (7%増) 【結果】 0歳児の家庭での保育率: 59.7%(26.7%増)	低年帯児(満1歳6か月未満)の家庭子育ての支援 生後8週を超え満1歳6か月までの乳児を、居間家庭で子育てを支援する取り組みに対し、給付金を支給。 1月30,000円。H28年度は、1月31日までの支給対象期間分を支給。 H27年度は、満歳未満まで。 【H28～31計画額】122,356千円 H28 30,556千円 H29～31 30,600千円×3年=91,800千円	H28 KPI 目標・結果 【H27からの継続含む】 【目標】 0歳児の家庭での保育率:40% (7%増) 【結果】 0歳児の家庭での保育率: 59.7%(26.7%増)
① 子育て環境の推進	子育て支援課	多子世帯保育料軽減事業	子どもが3人以上いる世帯の満3歳以上の児童の保育料を無償化し、子どもが4人以上に生れれば1万円(1名)を減額する仕組みを、少子化対策としてもう一人の子供を産もうという意識の促進を図る。 H27年度、地方創生交付金は、各とも園経常経費、委託料等に充当。 事業費を公立施設運営経常経費、大妻保育園委託料、なごはこ共同委託料、広瀬入所委託料、教育保育給付金負担金のうち、保育料国庫補助金から、費控減以降、年費無償化事業による県補助金を除いた額とする。(H27年度は、360万円)以上は、0円3,800万円未満世帯は、国庫補助金により無償。360万円以上の世帯は、県補助金を活用して無償化。 【H28～31計画額】122,356千円 H28 30,556千円 H29～31 30,600千円×3年=91,800千円	新規	【先行型】※H27.5月補正計上 H27年度無償化期間 9月分から3月分 国庫保育料額 30,133,150円 県補助金 12,785,000円 地方創生交付金 6,140,000円	【目標】 若者夫婦・子育て世代夫婦の定住:8件 【結果】 若者夫婦・子育て世代夫婦の定住:20件(うち町外より14件)	【評価】 計画どおりに進んでいる。 若者夫婦・子育て世代夫婦の定住:8件 【結果】 若者夫婦・子育て世代夫婦の定住:20件(うち町外より14件)	多子世帯児童の健全育成、当該世帯への経済的負担の軽減のため、出産・入学祝い金・給付金を増大し、進学や就職準備時である中学校卒業時に現金支給を行う。 H28年度からは、出産時5万円、小学校入学時2万円、中学校卒業時2万円 【H28～31計画額】122,356千円 H28 30,556千円 H29～31 30,600千円×3年=91,800千円	H28 KPI 目標・結果 【H27からの継続含む】 【目標】 若者夫婦・子育て世代夫婦の定住:8件 【結果】 若者夫婦・子育て世代夫婦の定住:20件(うち町外より14件)
① 子育て環境の推進	子育て支援課	第3子以降中学校卒業祝い金支給事業(第3子以降出産・入学・卒業祝い金支給事業)	多子世帯児童の健全育成、当該世帯への経済的負担の軽減のため、出産・入学祝い金・給付金を増大し、進学や就職準備時である中学校卒業時に現金支給を行う。 H28年度からは、出産時5万円、小学校入学時2万円、中学校卒業時2万円 【H28～31計画額】122,356千円 H28 30,556千円 H29～31 30,600千円×3年=91,800千円	新規	【先行型】※H27.5月補正計上 H27年度無償化期間 9月分から3月分 国庫保育料額 30,133,150円 県補助金 12,785,000円 地方創生交付金 6,140,000円	【目標】 若者夫婦・子育て世代夫婦の定住:8件 【結果】 若者夫婦・子育て世代夫婦の定住:20件(うち町外より14件)	【評価】 計画どおりに進んでいる。 若者夫婦・子育て世代夫婦の定住:8件 【結果】 若者夫婦・子育て世代夫婦の定住:20件(うち町外より14件)	多子世帯児童の健全育成、当該世帯への経済的負担の軽減のため、出産・入学祝い金・給付金を増大し、進学や就職準備時である中学校卒業時に現金支給を行う。 H28年度からは、出産時5万円、小学校入学時2万円、中学校卒業時2万円 【H28～31計画額】122,356千円 H28 30,556千円 H29～31 30,600千円×3年=91,800千円	H28 KPI 目標・結果 【H27からの継続含む】 【目標】 若者夫婦・子育て世代夫婦の定住:8件 【結果】 若者夫婦・子育て世代夫婦の定住:20件(うち町外より14件)
① 子育て環境の推進	子育て支援課	子育て世代生活支援センターの整備	相談支援のワンストップ拠点となる子育て世代生活支援センターを整備し、子育て世代の相談支援を行う。 【H28～31計画額】122,356千円 H28 30,556千円 H29～31 30,600千円×3年=91,800千円	新規	【先行型】※H27.5月補正計上 H27年度無償化期間 9月分から3月分 国庫保育料額 30,133,150円 県補助金 12,785,000円 地方創生交付金 6,140,000円	【目標】 若者夫婦・子育て世代夫婦の定住:8件 【結果】 若者夫婦・子育て世代夫婦の定住:20件(うち町外より14件)	【評価】 計画どおりに進んでいる。 若者夫婦・子育て世代夫婦の定住:8件 【結果】 若者夫婦・子育て世代夫婦の定住:20件(うち町外より14件)	相談支援のワンストップ拠点となる子育て世代生活支援センターを整備し、子育て世代の相談支援を行う。 【H28～31計画額】122,356千円 H28 30,556千円 H29～31 30,600千円×3年=91,800千円	H28 KPI 目標・結果 【H27からの継続含む】 【目標】 若者夫婦・子育て世代夫婦の定住:8件 【結果】 若者夫婦・子育て世代夫婦の定住:20件(うち町外より14件)
① 子育て環境の推進	子育て支援課	不妊治療費助成事業	不妊治療費助成事業 【H28～31計画額】122,356千円 H28 30,556千円 H29～31 30,600千円×3年=91,800千円	継続	【先行型】※H27.5月補正計上 H27年度無償化期間 9月分から3月分 国庫保育料額 30,133,150円 県補助金 12,785,000円 地方創生交付金 6,140,000円	【目標】 若者夫婦・子育て世代夫婦の定住:8件 【結果】 若者夫婦・子育て世代夫婦の定住:20件(うち町外より14件)	【評価】 計画どおりに進んでいる。 若者夫婦・子育て世代夫婦の定住:8件 【結果】 若者夫婦・子育て世代夫婦の定住:20件(うち町外より14件)	不妊治療費助成事業 【H28～31計画額】122,356千円 H28 30,556千円 H29～31 30,600千円×3年=91,800千円	H28 KPI 目標・結果 【H27からの継続含む】 【目標】 若者夫婦・子育て世代夫婦の定住:8件 【結果】 若者夫婦・子育て世代夫婦の定住:20件(うち町外より14件)

基本目標Ⅱ 安心して暮らせるまち

63	担当課 子育て支援課	事業名 SNS等による子育て支援情報の提供	事業概要 若い子育て世代が情報収集する手段としてスマホが注目を集め、利用者が6割と見られる。子育て関連情報をSNSを活用し、提供。子育て関連アプリ、facebook、Line等の活用。【参考費用】子育て関連アプリ 140,400円/月	新規継続	H27 KPI 目標・結果 【H26からの継続含む】 【目標】子育て支援情報の提供のあり方について、SNSを活用した提供方法について検討する。 【結果】1社からアプリ内容を提案を依頼し、町のホームページとの連携、内容協議が十分でなく、結果を出せなかった。	H27 KPI 事業内容 【H26からの継続含む】 必要と情報の内容及び提供媒体、方法を検討し、情報提供体制の充実を図るため、対象者の意見を聞きながら内容の検討を実施する。	H28 事業内容 【H27からの継続含む】	H28 KPI 目標・結果 【H27からの継続含む】 子育て中の保護者の声を聞き、情報発信手段としてのSNSアプリを決定する。
64	担当課 教育総務課	事業名 ゆりはま自主学習の広げ（ゆりはま地域未来塾）	事業概要 町在住の地域人材や学生ボランティア等の協力を得て、平日の午後4時～5時までの活動終了後、希望する中学生1年生～3年生が自主学習の時間を自己管理するものであり、オール港製菓体制での町の将来を担う中学生に対し自主的な学習の場を提供する。 ※国庫専用印刷費、寄贈・地域の連携協力推進事業費を活用 （補助対象：国、県、市町各1/3） ・謝礼金 566,960円 ・報償費 9,600円 ・消耗品費 43,200円 ・保険料 67,200円	新規	【評価】D 計画より遅れている。方向性を再考することができなかった。 【結果】1社からアプリ内容を提案を依頼し、町のホームページとの連携、内容協議が十分でなく、結果を出せなかった。	町在住の地域人材や学生ボランティア等の協力を得て、平日の午後4時～5時までの活動終了後、希望する中学生1年生～3年生が自主学習の時間を自己管理するものであり、オール港製菓体制での町の将来を担う中学生に対し自主的な学習の場を提供する。 ※国庫専用印刷費、寄贈・地域の連携協力推進事業費を活用 （補助対象：国、県、市町各1/3） ・謝礼金 566,960円 ・報償費 9,600円 ・消耗品費 43,200円 ・保険料 67,200円	H28 事業内容 【H27からの継続含む】	H28 KPI 目標・結果 【H27からの継続含む】 子育て中の保護者の声を聞き、情報発信手段としてのSNSアプリを決定する。
65	担当課 教育総務課	事業名 学校支援ボランティア事業の推進	事業概要 地域人材による学校ニーズに沿った学校支援により、学校と地域がともに元気になる関係づくりを推進する。 ・事業費 51,000円 （ボランティア保険料） 300円×34人×5校＝51,000円 ・H28以降は、各学校が作成した学校支援ボランティア人材バンクを活用しながら、学校のニーズに沿ったボランティア事業を推進する。 ・事務局は、ボランティア登録者に係るボランティア保険の加入手続きを進め、安全に活動していただける環境整備を図ることで、各校のボランティア事業の推進を支援する。	継続	【評価】C 計画どおりに進んでいる。各学校と意思疎通を図りながらボランティア活動を展開することによって、今年度作成した各校人材バンクを活かし、引き続き学校支援ボランティア活動の充実を図っていく。 【結果】H27ボランティア登録者数 130人、東郷小36人、泊小31人、北東中24人、東郷中31人	各小学校が作成した学校支援ボランティア人材バンクに加入し手帳を行う。 ・ボランティア保険料 5,100円 また、各校だけでは要請することが難しいボランティア内容に対して、他校人材バンクへの登録情報が必要に応じて情報提供し、実施困難と思われるボランティア内容の実施応援体制を支援する。	H28 事業内容 【H27からの継続含む】	H28 KPI 目標・結果 【H27からの継続含む】 子育て中の保護者の声を聞き、情報発信手段としてのSNSアプリを決定する。
66	担当課 教育総務課	事業名 ふるさと教育の推進	事業概要 ふるさと学習を持つ児童生徒の育成を目的とし、子どもたちが主体的にふるさとを学ぶ機会を創出し、ふるさとを体感できる学習や活動を進める。【内容】総合的な学習の時間で行われている地域学習の取組を拡げる。各小・中・高が独自の取り組みに対して、地域人材の活用や消耗品費200,000円×5校＝1,000,000円	新規	【評価】C 計画どおりに進んでいる。各学校と意思疎通を図りながらボランティア活動を展開することによって、今年度作成した各校人材バンクを活かし、引き続き学校支援ボランティア活動の充実を図っていく。 【結果】H27ボランティア登録者数 130人、東郷小36人、泊小31人、北東中24人、東郷中31人	各小学校が作成した学校支援ボランティア人材バンクに加入し手帳を行う。 ・ボランティア保険料 5,100円 また、各校だけでは要請することが難しいボランティア内容に対して、他校人材バンクへの登録情報が必要に応じて情報提供し、実施困難と思われるボランティア内容の実施応援体制を支援する。	H28 事業内容 【H27からの継続含む】	H28 KPI 目標・結果 【H27からの継続含む】 子育て中の保護者の声を聞き、情報発信手段としてのSNSアプリを決定する。
67	担当課 教育総務課	事業名 小学校社会司副読本作成事業	事業概要 湯梨浜町に誇りと愛着を持ち、大いになつても湯梨浜町に住み続けたいという気運を子どもたちから形成していくため、副読本を作成し、ふたつと教育の推進を図る。【H28】委員決定、編集委員の委嘱（15名程度）、編集委員会開催（3回）【H29】編集委員会の開催（3回）【内容】全力量力一冊作り、200ページ程度、1,100部印刷品（全児童・教職員数分）、写真・デジタルデータ（DVD）校内3小学校+教員委託出【結果】編集委員報酬費、作成委託料	新規	【評価】C 計画どおりに進んでいる。各学校と意思疎通を図りながらボランティア活動を展開することによって、今年度作成した各校人材バンクを活かし、引き続き学校支援ボランティア活動の充実を図っていく。 【結果】H27ボランティア登録者数 130人、東郷小36人、泊小31人、北東中24人、東郷中31人	各小学校が作成した学校支援ボランティア人材バンクに加入し手帳を行う。 ・ボランティア保険料 5,100円 また、各校だけでは要請することが難しいボランティア内容に対して、他校人材バンクへの登録情報が必要に応じて情報提供し、実施困難と思われるボランティア内容の実施応援体制を支援する。	H28 事業内容 【H27からの継続含む】	H28 KPI 目標・結果 【H27からの継続含む】 子育て中の保護者の声を聞き、情報発信手段としてのSNSアプリを決定する。
68	担当課 教育総務課	事業名 児童生徒の英語・コミュニケーション能力の向上	事業概要 英語32年度の小学校英語教科化及び中学校英語の高度化により、英語教育の重要性を高める。小学校で英語活動が必修化されたことにより、児童生徒の英語能力を高める。また、英語活動はオールイングリッシュでの授業を進め、真・文化理解や英語への関心を高め、将来に英語で自らの考えを明確に表現できる英語能力を育成。【内容】英語32年度より先行実施より何外国語活動委員会の配置（小・中学校）小学校5・6年生に12名、中学校5・6年生に970円（1時間）×70時間×12学年級＝814,800円（県の外国語活動支援員事業活用、中学校：970円（1時間）×140時間×18学年級＝2,444,400円	新規	【評価】C 計画どおりに進んでいる。各学校と意思疎通を図りながらボランティア活動を展開することによって、今年度作成した各校人材バンクを活かし、引き続き学校支援ボランティア活動の充実を図っていく。 【結果】H27ボランティア登録者数 130人、東郷小36人、泊小31人、北東中24人、東郷中31人	各小学校が作成した学校支援ボランティア人材バンクに加入し手帳を行う。 ・ボランティア保険料 5,100円 また、各校だけでは要請することが難しいボランティア内容に対して、他校人材バンクへの登録情報が必要に応じて情報提供し、実施困難と思われるボランティア内容の実施応援体制を支援する。	H28 事業内容 【H27からの継続含む】	H28 KPI 目標・結果 【H27からの継続含む】 子育て中の保護者の声を聞き、情報発信手段としてのSNSアプリを決定する。

基本目標Ⅱ 安心して暮らせるまち

施策 担当課	事業名	事業概要	新発 継続	H27 事業実施内容 【H26からの継続含む】	H27 KPI 目標・結果 【H26からの継続含む】	H27 KPI 事業評価 【H26からの継続含む】	H28 事業内容 【H27からの継続含む】	H28 KPI 目標・結果 【H27からの継続含む】
① 子育て環境の推進	ワークライフ・バランス セミナー事業	中小企業者、人事・労務担当者、一般勤労者等を対象にワークライフ・バランスのセミナーを開催し、企業の雇用環境の向上と併せて育児休業取得率等の向上を図る。 (H27予算額) セミナー開催費 500千円 (H28～31予算額) 500千円×4年=2,000千円	新発	【実行要】※H27.2月補正予算 町内企業、一般町民を対象にワークライフ・バランスセミナーを2回実施した。(セミナー開催費147,640円)	【目標】 鳥取県男女共同参画推進企業の認定企業数:29社(68%増) 【結果】 鳥取県男女共同参画推進企業の認定企業数:14社(18%増)	【評価】計画より遅れている。目標値は20社であったが、結果としては目標を下回る14社であった。ワークライフ・バランス推進に向けて、早期にセミナー実施に取り組むたい。	生活と仕事を両立できる職場環境づくりについて理解を深め、子育てしやすい環境づくりを推進するため、町内中小企業、一般勤労者等を対象にワークライフ・バランスセミナーを開催する。 ・セミナー委託費 350千円	予算額 350,000円
				実績額 147,640円				予算額 96,495,908円
				実績額 53,266,370円				
		①子育て環境の推進 村						

基本目標Ⅱ 安心して暮らせるまち

70	<p>② 地域福祉の推進</p> <p>担当課 長寿福祉課</p> <p>事業名 介護予防・健康づくりリーダー(ゆりりんメイト)養成事業</p> <p>事業概要 地域の自主的介護予防活動、健康づくり活動の指導・支援を行うボランティアを養成する。H27は講座10回受講で20人のリーダー養成を行った。</p> <p>新規継続</p>	<p>H27 KPI 目標・結果 【H26からの継続含む】</p> <p>【目標】 介護予防・健康づくりリーダー養成者数:20人</p> <p>【結果】 介護予防・健康づくりリーダー養成者数:20人</p>	<p>H27 KPI 目標・結果 【H26からの継続含む】</p> <p>【目標】 介護予防・健康づくりリーダー養成者数:20人</p> <p>【結果】 介護予防・健康づくりリーダー養成者数:20人</p>	<p>H27 KPI 目標・結果 【H26からの継続含む】</p> <p>【目標】 介護予防・健康づくりリーダー養成者数:20人</p> <p>【結果】 介護予防・健康づくりリーダー養成者数:20人</p>	<p>H28 事業内容 【H27からの継続含む】</p> <p>介護予防・健康づくりリーダーの養成を講義に実施していくとともにリーダー実習を支援して自主的活動展開へとつなげる。</p> <p>82千円 講座講師報酬金 40千円 実習参加謝礼 50千円 消耗品の購入、郵送料 57千円</p> <p>予算額 229,000円</p>	<p>H28 KPI 目標・結果 【H27からの継続含む】</p> <p>【目標】 介護予防・健康づくりリーダー養成者数:20人</p> <p>【結果】 介護予防・健康づくりリーダー養成者数:20人</p>
71	<p>② 地域福祉の推進</p> <p>担当課 健康推進課</p> <p>事業名 歯・口の健康づくり推進事業</p> <p>事業概要 フッ化物塗布・歯垢除去指導を小学生まで拡大して実施する。</p> <p>H28は、歯のむし歯予防フッ化物塗布事業を活用して実施する。</p> <p>H29以降(小学校のみの実施) 薬剤:30万円 配達:156万円</p> <p>継続</p>	<p>【目標】 各小学校での実施回数:20回</p> <p>【結果】 各小学校での実施回数:20回</p>	<p>【目標】 各小学校での実施回数:20回</p> <p>【結果】 各小学校での実施回数:20回</p>	<p>【目標】 各小学校での実施回数:20回</p> <p>【結果】 各小学校での実施回数:20回</p>	<p>【目標】 各小学校での実施回数:20回</p> <p>【結果】 各小学校での実施回数:20回</p>	<p>【目標】 各小学校での実施回数:20回</p> <p>【結果】 各小学校での実施回数:20回</p>
72	<p>② 地域福祉の推進</p> <p>担当課 健康推進課</p> <p>事業名 健康相談・健康教室等の実施①</p> <p>事業概要 高齢者を対象とした健康相談・健康教室等の実施。健康相談・健康教室等の実施。健康相談・健康教室等の実施。</p> <p>継続</p>	<p>【目標】 健康相談・健康教室等の実施回数:20回</p> <p>【結果】 健康相談・健康教室等の実施回数:20回</p>	<p>【目標】 健康相談・健康教室等の実施回数:20回</p> <p>【結果】 健康相談・健康教室等の実施回数:20回</p>	<p>【目標】 健康相談・健康教室等の実施回数:20回</p> <p>【結果】 健康相談・健康教室等の実施回数:20回</p>	<p>【目標】 健康相談・健康教室等の実施回数:20回</p> <p>【結果】 健康相談・健康教室等の実施回数:20回</p>	<p>【目標】 健康相談・健康教室等の実施回数:20回</p> <p>【結果】 健康相談・健康教室等の実施回数:20回</p>
73	<p>② 地域福祉の推進</p> <p>担当課 健康推進課</p> <p>事業名 健康相談・健康教室等の実施②</p> <p>事業概要 高齢者を対象とした健康相談・健康教室等の実施。健康相談・健康教室等の実施。健康相談・健康教室等の実施。</p> <p>継続</p>	<p>【目標】 健康相談・健康教室等の実施回数:20回</p> <p>【結果】 健康相談・健康教室等の実施回数:20回</p>	<p>【目標】 健康相談・健康教室等の実施回数:20回</p> <p>【結果】 健康相談・健康教室等の実施回数:20回</p>	<p>【目標】 健康相談・健康教室等の実施回数:20回</p> <p>【結果】 健康相談・健康教室等の実施回数:20回</p>	<p>【目標】 健康相談・健康教室等の実施回数:20回</p> <p>【結果】 健康相談・健康教室等の実施回数:20回</p>	<p>【目標】 健康相談・健康教室等の実施回数:20回</p> <p>【結果】 健康相談・健康教室等の実施回数:20回</p>
74	<p>② 地域福祉の推進</p> <p>担当課 健康推進課</p> <p>事業名 健康相談・健康教室等の実施③</p> <p>事業概要 高齢者を対象とした健康相談・健康教室等の実施。健康相談・健康教室等の実施。健康相談・健康教室等の実施。</p> <p>継続</p>	<p>【目標】 健康相談・健康教室等の実施回数:20回</p> <p>【結果】 健康相談・健康教室等の実施回数:20回</p>	<p>【目標】 健康相談・健康教室等の実施回数:20回</p> <p>【結果】 健康相談・健康教室等の実施回数:20回</p>	<p>【目標】 健康相談・健康教室等の実施回数:20回</p> <p>【結果】 健康相談・健康教室等の実施回数:20回</p>	<p>【目標】 健康相談・健康教室等の実施回数:20回</p> <p>【結果】 健康相談・健康教室等の実施回数:20回</p>	<p>【目標】 健康相談・健康教室等の実施回数:20回</p> <p>【結果】 健康相談・健康教室等の実施回数:20回</p>
75	<p>② 地域福祉の推進</p> <p>担当課 健康推進課</p> <p>事業名 健康相談・健康教室等の実施④</p> <p>事業概要 高齢者を対象とした健康相談・健康教室等の実施。健康相談・健康教室等の実施。健康相談・健康教室等の実施。</p> <p>継続</p>	<p>【目標】 健康相談・健康教室等の実施回数:20回</p> <p>【結果】 健康相談・健康教室等の実施回数:20回</p>	<p>【目標】 健康相談・健康教室等の実施回数:20回</p> <p>【結果】 健康相談・健康教室等の実施回数:20回</p>	<p>【目標】 健康相談・健康教室等の実施回数:20回</p> <p>【結果】 健康相談・健康教室等の実施回数:20回</p>	<p>【目標】 健康相談・健康教室等の実施回数:20回</p> <p>【結果】 健康相談・健康教室等の実施回数:20回</p>	<p>【目標】 健康相談・健康教室等の実施回数:20回</p> <p>【結果】 健康相談・健康教室等の実施回数:20回</p>

基本目標Ⅱ 安心して暮らせるまち

施策	担当課	事業名	事業概要	新規継続	H27 事業実施内容 【H26からの繰越含む】	H27 KPI 目標・結果 【H26からの繰越含む】	H28 事業内容 【H27からの繰越含む】	H28 KPI 目標・結果 【H27からの繰越含む】
② 地域福祉の推進	健康推進課	高齢者福祉大学による「まちの保健室」への連携	高齢者福祉大学と連携し、健康づくり支援を希望する住民、また健康や生活に不安を抱える住民が地域で安心して暮らすための生活支援を、気軽に利用でき、自分の健康から健康寿命の延ばし、介護予防、引きこもり、こころの健康、子育て支援などさまざまな問題に対応する。	新規			【加速化】※H28.2月補正計上 モデル事業を決定し、地区及び看護大学と連携し、事業実施に向け協議や健康教室を開催する。 「まちの保健室」等事業にかかる経費金 68千円 地区での健康教室に係る消耗品・使用料 197千円 健康教室に必要な備品購入費(PC・プロジェクタ等) 235千円	【目標】 ①CCRC事業に参画する民間事業者・団体数:3団体以上(H28.3月)・5団体以上(H28.3月)・5団体以上(H28.3月) ②県外からの移住者数:282人(H28.3月)・850人(H28.3月)
		② 地域福祉の推進	【生涯活躍のまち】連携推進①移行定住の推進(にも記載あり)	新規	【計画】C 計画におりに進んでいる モデルプランを基に、本年度具体的に生涯活躍のまちを推進していくための基本計画を本町で決定する。	【結果】 鳥取県が主体となり、モデルプランを策定した。	【加速化】※H28.2月補正計上 *拠点エリア整備基本計画策定 13,000千円 *東京圏のアクティブシニアへの情報発信 1,190千円 *イベント参加旅費228千円・消耗品費100千円・お風呂用費1,937千円 *股立会費600千円・会費使用料462千円 *役員報酬120千円・出張旅費777千円・消耗品費30千円 *通信運搬費10千円、会社設立補助金1,000千円 予算額 16,127,000円	【目標】 ①CCRC事業に参画する民間事業者・団体数:3団体以上(H28.3月)・5団体以上(H28.3月) ②県外からの移住者数:282人(H28.3月)・850人(H28.3月)
② 地域福祉の推進	健康推進課	【生涯活躍のまち】連携推進②移行定住の推進(にも記載あり)	新市前のアクティブシニアが地方に移り住み(又は町民の住み替えも)、多世代と交流しながら健康でアクティブな生活を送り、必要な時期に必要な医療・介護を受けることができるような地域づくりの推進	新規	【計画】C 計画におりに進んでいる モデルプランを基に、本年度具体的に生涯活躍のまちを推進していくための基本計画を本町で決定する。	【結果】 鳥取県が主体となり、モデルプランを策定した。	【加速化】※H28.2月補正計上 モデル事業を決定し、地区及び看護大学と連携し、事業実施に向け協議や健康教室を開催する。 「まちの保健室」等事業にかかる経費金 68千円 地区での健康教室に係る消耗品・使用料 197千円 健康教室に必要な備品購入費(PC・プロジェクタ等) 235千円 予算額 500,000円	【目標】 ①CCRC事業に参画する民間事業者・団体数:3団体以上(H28.3月)・5団体以上(H28.3月) ②県外からの移住者数:282人(H28.3月)・850人(H28.3月)
		② 地域福祉の推進	【生涯活躍のまち】連携推進③移行定住の推進(にも記載あり)	新市前のアクティブシニアが地方に移り住み(又は町民の住み替えも)、多世代と交流しながら健康でアクティブな生活を送り、必要な時期に必要な医療・介護を受けることができるような地域づくりの推進	新規	【計画】C 計画におりに進んでいる モデルプランを基に、本年度具体的に生涯活躍のまちを推進していくための基本計画を本町で決定する。	【結果】 鳥取県が主体となり、モデルプランを策定した。	【加速化】※H28.2月補正計上 *拠点エリア整備基本計画策定 13,000千円 *東京圏のアクティブシニアへの情報発信 1,190千円 *イベント参加旅費228千円・消耗品費100千円・お風呂用費1,937千円 *股立会費600千円・会費使用料462千円 *役員報酬120千円・出張旅費777千円・消耗品費30千円 *通信運搬費10千円、会社設立補助金1,000千円 予算額 16,127,000円
② 地域福祉の推進	長寿福祉課	【生涯活躍のまち】連携推進④移行定住の推進(にも記載あり)	新市前のアクティブシニアが地方に移り住み(又は町民の住み替えも)、多世代と交流しながら健康でアクティブな生活を送り、必要な時期に必要な医療・介護を受けることができるような地域づくりの推進	新規	【計画】C 計画におりに進んでいる モデルプランを基に、本年度具体的に生涯活躍のまちを推進していくための基本計画を本町で決定する。	【結果】 鳥取県が主体となり、モデルプランを策定した。	【加速化】※H28.2月補正計上 *拠点エリア整備基本計画策定 13,000千円 *東京圏のアクティブシニアへの情報発信 1,190千円 *イベント参加旅費228千円・消耗品費100千円・お風呂用費1,937千円 *股立会費600千円・会費使用料462千円 *役員報酬120千円・出張旅費777千円・消耗品費30千円 *通信運搬費10千円、会社設立補助金1,000千円 予算額 500,000円	【目標】 ①CCRC事業に参画する民間事業者・団体数:3団体以上(H28.3月)・5団体以上(H28.3月) ②県外からの移住者数:282人(H28.3月)・850人(H28.3月)
		② 地域福祉の推進	【生涯活躍のまち】連携推進⑤移行定住の推進(にも記載あり)	新市前のアクティブシニアが地方に移り住み(又は町民の住み替えも)、多世代と交流しながら健康でアクティブな生活を送り、必要な時期に必要な医療・介護を受けることができるような地域づくりの推進	新規	【計画】C 計画におりに進んでいる モデルプランを基に、本年度具体的に生涯活躍のまちを推進していくための基本計画を本町で決定する。	【結果】 鳥取県が主体となり、モデルプランを策定した。	【加速化】※H28.2月補正計上 *拠点エリア整備基本計画策定 13,000千円 *東京圏のアクティブシニアへの情報発信 1,190千円 *イベント参加旅費228千円・消耗品費100千円・お風呂用費1,937千円 *股立会費600千円・会費使用料462千円 *役員報酬120千円・出張旅費777千円・消耗品費30千円 *通信運搬費10千円、会社設立補助金1,000千円 予算額 10,000,000円
					【計画】C 計画におりに進んでいる モデルプランを基に、本年度具体的に生涯活躍のまちを推進していくための基本計画を本町で決定する。	【結果】 鳥取県が主体となり、モデルプランを策定した。	予算額 10,000,000円	
							予算額 32,354,000円	

② 地域福祉の推進 計

基本目標Ⅱ 安心して暮らせるまち

施策	担当課	事業名	事業概要	新規継続	H27 事業実施内容 【H26からの継続含む】	H27 KPI 目標・特長 【H26からの継続含む】	H27 KPI 事業実施内容 【H26からの継続含む】	H28 事業内容 【H27からの継続含む】	H28 KPI 目標・結果 【H27からの継続含む】
③ 結婚の出会いの場づくりと情報提供	企画課	結婚び支援員事業	晩婚化や少子化が進む中、結婚を望む男女の出会いを創出する「結婚び支援員」の活動を支援することで、人口増加や次世代を担う住民の定住を促進する。 ④H27予算額 177千円 ④H28～31予算額 177千円×4年＝708千円		晩婚化や少子化が進む中、結婚を望む男女の出会いを創出する「結婚び支援員」の活動を支援することで、人口増加や次世代を担う住民の定住を促進した。 ・結婚び支援員 情報交換会 1回 報償金5千円 ・新規結婚び支援員 研修会 1回 報償金5千円 実績額 21,600円	【目標】 結婚び支援員事業により婚した件数:年1件 【結果】 結婚び支援員事業による婚姻実績なし。	【計画:D 計画より遅れている】 目標額は年1件の婚姻成立であったが、婚姻成立はなかった。引き続き、支援員の活動を支援し、男女の出会いの創出を図っていく。	【H27からの継続含む】 晩婚化や少子化が進む中、結婚を望む男女の出会いを創出する「結婚び支援員」の活動を支援することで人口増加や次世代を担う住民の定住を促進する。 ・結婚び支援員 情報交換会 研修会 出席報償金 89千円 ・新規結婚び支援員 研修会 出席報償金 90千円 予算額 179,000円	【H27からの継続含む】 結婚び支援員事業等により婚した件数:年1件 【結果】 結婚び支援員事業による婚姻実績なし。
	企画課	婚活イベント事業(広域連携)	中部地区市町と連携し、婚活イベントを開催することで、より、結婚を希望する方の出会いの機会を広域的に拡大することなどにより、少子化傾向の改善に取り組む。※中部地区自立圏事業や実施する。予算額については協議中	新規	中部地区市町と連携し、婚活イベントを開催することで、より、結婚を希望する方の出会いの機会を広域的に拡大することなどにより、少子化傾向の改善に向けた取り組みを行った。 【計画】 平成28年度における婚活イベントの広域連携のための調査を行った。 【結果】 平成28年度における婚活イベントの広域連携のための調査を行った。い、中部市町において平成27年度2月補正で予算計上した。	【計画:C 計画どおりに進んでいる】 【結果】 平成28年度に予定していた婚活イベントを開催することにより、結婚を希望する方の出会いの機会を広域的に拡大することなどにより、少子化傾向の改善に向けた取り組みを行った。平成28年度に向けての予算措置を行った。平成28年度に向けての婚活イベントの広域連携のための調査を行った。い、中部市町において平成27年度2月補正で予算計上した。	【計画:C 計画どおりに進んでいる】 【結果】 平成28年度に予定していた婚活イベントを開催することにより、結婚を希望する方の出会いの機会を広域的に拡大することなどにより、少子化傾向の改善に向けた取り組みを行った。平成28年度に向けての婚活イベントの広域連携のための調査を行った。い、中部市町において平成27年度2月補正で予算計上した。	【計画:C 計画どおりに進んでいる】 【結果】 平成28年度に予定していた婚活イベントを開催することにより、結婚を希望する方の出会いの機会を広域的に拡大することなどにより、少子化傾向の改善に向けた取り組みを行った。平成28年度に向けての婚活イベントの広域連携のための調査を行った。い、中部市町において平成27年度2月補正で予算計上した。	【H27からの継続含む】 【計画:D 計画より遅れている】 【結果】 平成28年度に予定していた婚活イベントを開催することにより、結婚を希望する方の出会いの機会を広域的に拡大することなどにより、少子化傾向の改善に向けた取り組みを行った。平成28年度に向けての婚活イベントの広域連携のための調査を行った。い、中部市町において平成27年度2月補正で予算計上した。
④ 結婚の出会いの場づくりと情報提供		③結婚の出会いの場づくりと情報提供 計			実績額 0円				
		基本目標Ⅱ 合計			実績額 54,488,200円		実績額 21,600円	予算額 3,178,000円	予算額 132,208,909円

湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略 具体的事業一覧

基本目標Ⅲ 町民みなが創るまち

施策	担当課	事業名	事業概要	新規継続	H27 事業実施内容 【H26からの継続含む】	H27 KPI 目標・結果 【H26からの継続含む】	H27 KPI 事業評価 【H26からの継続含む】	H28 事業実施内容 【H27からの継続含む】	H28 KPI 目標・結果 【H27からの継続含む】
① 移住定住の推進	みらい創造室	ムリターン促進事業	(移住・定住相談情報提供並立事業) 移住定住相談会へ積極的に参加するとともに、町内への移住相談へ速やかに対応できるよう、移住情報を一元化したパンフレットを作成し、町の魅力を発信を図った。 費用 4回(6人) 250千円 移住相談 1回、86千円 パンフレット他、272千円 役員費 10千円 使用料 1回、86千円	新規 実績 618,415円	【先行型】※H27.2月補正計上 移住定住相談会へ積極的に参加するとともに、町内への移住相談へ速やかに対応できるよう、移住情報を一元化したパンフレットを作成し、町の魅力を発信を図った。 費用 4回(6人) 250千円 移住相談 1回、86千円 パンフレット他、272千円 役員費 10千円 使用料 1回、86千円	【目標】 移住に関する具体的な相談に入っている者数:5人 【結果】 移住に関する具体的な相談に入っている者数:5人	【計画】C 計画どおりに進んでいる。 相談への参加が相談者に確保に結びつき目標達成できている。	地域の若者や若年層の移住促進を図るため、町内への移住定住相談会に参加し、本町の魅力を積極的に発信する。H28予算額) 346千円(旅費292千円、需用費50千円、役員費24千円)	H28 KPI 目標・結果 【H27からの継続含む】
① 移住定住の推進	みらい創造室	空き家情報バンク活用促進事業	【先行型】※H27.2月補正計上 空き家情報バンク登録物件に町外者が転入する場合には、空き家所有者が行う改修等の費用を補助する。上:100,000円×3件、町外者100千円 補助率1/2 予算:100,000円 補助金 300千円 【H27予算額】 補助金 300千円 【H28～31予算額】 300千円×4年=1,200千円	継続	【先行型】※H27.2月補正計上 空き家情報バンク登録物件に町外者が転入する場合には、空き家所有者が行う改修等の費用を補助する。 実績 0件	【目標】 町外(県内)からの空き家バンク利用者数:3件 【結果】 町外(県内)からの空き家バンク利用者数:1件	【計画】C 計画どおりに進んでいる。 補助金の活用はなかつたが、空き家バンクへの登録は進捗があった。	空き家情報バンク登録物件に町外者が転入する場合には、空き家所有者が行う改修等の費用を補助する。H28予算額) 300千円×4年=1,200千円	H28 KPI 目標・結果 【H27からの継続含む】
① 移住定住の推進	みらい創造室	空き家対策事業	田舎暮らし体験施設整備事業補助金 前に移住定住を希望する人が気軽に滞在できるような滞在施設を整備する費用を最大1,000千円を補助。 【H28～31予算額】 1,000千円×4年=4,000千円	新規	田舎暮らし体験施設整備事業補助金 前に移住定住を希望する人が気軽に滞在できるような滞在施設を整備する費用を最大1,000千円補助。 実績 0件	【目標】 田舎暮らし体験施設整備:1件 【結果】 田舎暮らし体験施設整備:0件	【計画】D 計画より遅れている。 ホームページ等で周知を行ったが、申請がなかった。	空き家改修事業補助金 移住定住希望者に空き家を提供するために、空き家の改修費を最大200千円補助する。 【H28予算額】 200千円×2件	H28 KPI 目標・結果 【H27からの継続含む】
① 移住定住の推進	みらい創造室	移住定住者住宅支援事業	移住定住者住宅支援補助事業 県外の人又は県外から町内に転入して6か月を経過していない人が住宅の新築、購入又は改修をする場合補助する。 【H27予算額】 2,800千円(移住定住者2名以上1,000×2件、2,000千円、移住定住者1名800千円×1件、500千円、改修200千円×2件、60千円) 【H28～31予算額】 2,800千円×4年=11,600千円	継続	県外の人又は県外から町内に転入して6か月を経過していない人が住宅の新築、購入又は改修をする場合補助。 新築 1棟、2,000千円 改修 1棟、2,000千円 合計 2棟、4,000千円 ※土地開発公社分譲地は該当なし。	【目標】 県外からの転入者の定住:5件 【結果】 県外からの転入者の定住:3件	【計画】C 計画どおりに進んでいる。 補助金の活用は進捗にあり、定住につなげられている。	県外の人又は県外から町内に転入して6か月を経過していない人が住宅の新築、購入又は改修をする場合補助する。H28予算額) 2,800千円(移住定住者2名以上1,000千円×2件、2,000千円、移住定住者1名800千円×1件、500千円、改修200千円×2件、60千円)	H28 KPI 目標・結果 【H27からの継続含む】
① 移住定住の推進	企画課	町外者による「かりはま」の宿泊費助成事業	町内で移住定住希望者にボランティアで作業を行ってもらうことで、地域間交流と地域の人手不足の解消を図る。ボランティア受入者に報酬を支払い、ボランティア受入者には宿泊費を負担。 ボランティア受入報酬金 39件 97千円 ボランティア支援業務委託料(宿泊)54泊 292千円	継続	町内で移住定住希望者にボランティアで作業を行ってもらうことで、地域間交流と地域の人手不足の解消を図る。ボランティア受入者に報酬を支払い、ボランティア受入者には宿泊費を負担。 ボランティア受入報酬金 39件 97千円 ボランティア支援業務委託料(宿泊)54泊 292千円	【目標】 ボランティア受入者数:22名 【結果】 ボランティア受入者数:15名	【計画】B 計画以上に進んでいる。 目標はボランティア受入者数15名であったが、結果として目標を上回る22名であり、移住定住希望者による地域間交流を図ることができた。平成28年度この結果をもとに、平成29年度以降は毎年20名以上のボランティア受入者を目指して、地域間交流と移住定住を促進していく。	町内で移住定住希望者にボランティアで作業を行ってもらうことで、地域間交流と地域の人手不足の解消を図る。ボランティア受入者に報酬を支払い、ボランティア受入者には宿泊費を負担。 ボランティア受入報酬金 150千円 ボランティア支援業務委託料(宿泊)54泊 324千円 通信運搬費 6千円	H28 KPI 目標・結果 【H27からの継続含む】
① 移住定住の推進	みらい創造室	若者夫婦・子育て世代住宅支援事業	どちらかが35歳以下の夫婦、中学生以下の子どもが2名以上いる世帯主への住宅新築・購入費に対して補助金を交付。 新築・購入は5/1(上限500千円)、土地開発公社分譲地に 【H28～31計画額】 13,500千円(新築・購入500千円×25件、土地開発公社分譲地1,000千円×1件)×4年=54,000千円	新規	【先行型】※H27.2月補正・H27.9月補正計上 どちらかが35歳以下の夫婦、中学生以下の子どもが2名以上いる世帯主への住宅新築・購入費に対して補助金を交付。 新築・購入は5/1(上限500千円)、土地開発公社分譲地に 【H28～31計画額】 13,500千円(新築・購入500千円×25件、土地開発公社分譲地1,000千円×1件)×4年=54,000千円	【目標】 若者夫婦・子育て世代夫婦の定住:20件 【結果】 若者夫婦・子育て世代夫婦の定住:8件	【計画】B 計画以上に進んでいる。 目標は8件であったが、結果として目標を上回る20件あり、若者・子育て世代の定住を図ることができた。この結果をもとに、H28以降は目標を引き上げ26件とし、本町への定住促進をさらに進めていきたい。	どちらかが35歳以下の夫婦、中学生以下の子どもが2名以上いる世帯主への住宅新築・購入費に対して補助金を交付。 新築・購入 25件、12,500千円 新築・購入(土地開発公社) 1件、1,000千円 合計 26件、13,500千円	H28 KPI 目標・結果 【H27からの継続含む】

基本目標Ⅲ 町民みんなが創るまち

担当課	事業名	事業概要	新規 継続	H27 事業実施内容 【H26からの繰越含む】	H27 KPI 目標・結果 【H26からの繰越含む】	H27 KPI 事業評価 【H26からの繰越含む】	H28 事業内容 【H27からの繰越含む】	H28 KPI 目標・結果 【H27からの繰越含む】
88	みらい創造室 ① 移住定住の推進	三世帯同居等支援事業 三世帯同居等の支援を受ける者に対し、三世帯で同居または近隣に居住する親と子と孫が新たに三世帯で同居または近隣に居住するための住宅の取得や増設費・リフォーム等の費用に対して助成を行う。 補助率1/100、上限額500千円 (H28～31予算額) 補助金 年5,000千円×10件 名計5,000千円×4年=20,000千円	新規				三世帯家族の形成と子育ての支援を促進し、家族の絆の再興と定住促進を図る。 親と子と孫が新たに三世帯で同居または近隣に居住するための住宅の取得や増設費・リフォーム等の費用に対して助成を行う。 500千円×10件 5,000千円	H28 KPI 目標・結果 【H27からの繰越含む】 新たな三世帯家族の定住 10件
89	みらい創造室 ① 移住定住の推進	移住希望者等支援事業 移住希望者が自動車運転免許取得した場合、取得費用の一部を助成する。補助率1/2、上限額100千円 ※社会福祉会 ① 県外から町に転入して6か月を経過していない人 ② 県外から5年以上住んでいて、76歳以下の人 ③ 補助金の交付を受けてから5年以上町に定住しようとする。 (H28～31予算額) 補助金 年1,500千円(150千円×10件)×4年=6,000千円	新規				県外からの移住者が自動車運転免許取得した場合、取得費用の一部を助成する。 150千円×10件 1,500千円	【目標】 県外からの定住者の免許取得 10件
90	みらい創造室 ① 移住定住の推進	住宅取得仲介報酬助成事業 中古住宅及び新築住宅用地(いずれも県有住宅を除く。)を購入しようとする者に対し、支払った仲介報酬を一部助成し、町内定住促進により町の活性化を図る。 補助率1/3、上限額130千円 (H28～31予算額) 補助金 年1,300千円(130千円×10件) 合計1,300千円×4年=5,200千円	新規				中古住宅及び新築住宅用地(いずれも県有住宅を除く。)を購入しようとする者に対し、支払った仲介報酬を一部助成し、町内定住促進により町の活性化を図る。 130千円×10件 1,300千円	中古住宅及び新築住宅用地購入による、町内への定住:10件
91	みらい創造室 ① 移住定住の推進	鳥取大学等との連携による地(知)の拠点CO-C+1事業の推進 地域で活躍する人材の育成や学生を後とした地域産業の活性化、地方への人口集積等を推進するため、地域に各種の大学が地域活性化政策を担う地方公共団体、人材を受け入れる企業や地域活性化を目的として活動するNPOや民間団体等と協働し、当該地域における雇用創出や学生等の地元定住率の向上を推進する。 具体的な内容は今後つめていく。	新規			【評価:0】計画どおりに進んでいる。 【評価:1】H28.3.20協定書を締結し、今後当該地域における雇用創出や学生等の地元定住率の向上を推進していく。	地域で活躍する人材の育成や学生を後とした地域産業の活性化、地方への人口集積等を推進するため、地域に各種の大学が地域活性化政策を担う地方公共団体、人材を受け入れる企業や地域活性化を目的として活動するNPOや民間団体等と協働し、当該地域における雇用創出や学生等の地元定住率の向上を推進する。 【目標】 H28.3.20に協定書が締結された。	各種団体と協働し、当該地域における雇用創出や学生等の地元定住率の向上を推進する。 【目標】 H28.3.20に協定書が締結された。
92	みらい創造室 ① 移住定住の推進	お話し住宅営業事業 空き家を借り上げて改修し、お話し住宅として活用することで、移住定住を後押ししている方に本町の暮らしを体験してもらおうと、空き家の有効活用、移住定住後継者や地域住民の交流による地域活性化及び定住促進を図る。 お話し住宅に配置する家電・家具等を整備する。 お話し住宅に配置する家電・家具等を整備する。 お話し住宅に配置する家電・家具等を整備する。	新規			【評価:0】計画より遅れている。 【評価:1】H27.9月～10月に営業した結果、1件の応募があった。応募者と継続協議中。	空き家を借り上げて改修し、お話し住宅として活用することで、移住定住を後押ししている方に本町の暮らしを体験してもらおうと、空き家の有効活用、移住定住後継者や地域住民の交流による地域活性化及び定住促進を図る。 お話し住宅に配置する家電・家具等を整備する。 お話し住宅に配置する家電・家具等を整備する。 お話し住宅に配置する家電・家具等を整備する。	【目標】 お話し住宅利用件数:3件 お話し住宅利用件数:0件
93	教育総務課 ① 移住定住の推進	ふるさと奨学金貸付事業(各種重要ふるさと奨学金)奨学金支援事業(1:③)雇用の推進にも記載あり ① 奨学金貸付事業(各種重要ふるさと奨学金)奨学金支援事業(1:③)雇用の推進にも記載あり ふるさと奨学金貸付事業(各種重要ふるさと奨学金)奨学金支援事業(1:③)雇用の推進にも記載あり ふるさと奨学金貸付事業(各種重要ふるさと奨学金)奨学金支援事業(1:③)雇用の推進にも記載あり	新規			【評価:0】計画より遅れている。 【評価:1】H27.9月～10月に営業した結果、1件の応募があった。応募者と継続協議中。	ふるさと奨学金貸付事業(各種重要ふるさと奨学金)奨学金支援事業(1:③)雇用の推進にも記載あり ふるさと奨学金貸付事業(各種重要ふるさと奨学金)奨学金支援事業(1:③)雇用の推進にも記載あり ふるさと奨学金貸付事業(各種重要ふるさと奨学金)奨学金支援事業(1:③)雇用の推進にも記載あり ふるさと奨学金貸付事業(各種重要ふるさと奨学金)奨学金支援事業(1:③)雇用の推進にも記載あり	【目標】 ふるさと奨学金貸付事業(各種重要ふるさと奨学金)奨学金支援事業(1:③)雇用の推進にも記載あり ふるさと奨学金貸付事業(各種重要ふるさと奨学金)奨学金支援事業(1:③)雇用の推進にも記載あり ふるさと奨学金貸付事業(各種重要ふるさと奨学金)奨学金支援事業(1:③)雇用の推進にも記載あり ふるさと奨学金貸付事業(各種重要ふるさと奨学金)奨学金支援事業(1:③)雇用の推進にも記載あり

基本目標Ⅲ 町民みんなが創るまち

施策	担当課	事業名	事業概要	新規継続	H27 事業実施内容 【H26からの繰越含む】	H27 KPI 目標・結果 【H26からの繰越含む】	H28 事業内容 【H27からの繰越含む】	H28 KPI 目標・結果 【H27からの繰越含む】
① 移住定住の推進	みらい創造室	「生涯活躍のまち」湯梨井町版OCRC事業の推進 ①(専機) ②(地裁あり)	都市部のアクティブシニアが地方に移住(又は町民の住み替えも)、多世代と交流しながら健康でアクティブな生活を送り、必要な時期に必要な医療・介護を受けることができるような地域づくりの推進	新規	鳥取県が実施主体となり、本町をモデル地区として「湯梨井町版生涯活躍のまち」プランを策定。来年度具体的に実施していくための基本計画を本町で策定予定。 実績額 0円	【計画】C計画どおりに進んでいる。 モデルプランを基に来年度具体的な「生涯活躍のまち」を推進していくための基本計画を本町で策定する。 【結果】鳥取県が主体となり、モデルプランを策定した。	【加算化】※H28.2月修正計上 ・拠点エリア整備費基本計画策定 13,000千円 ・東京圏のアクティブシニアへの情報発信 1,100千円 ・イベント参加旅費228千円、消耗品費100千円、お風呂用アーチェン立上げ及び協議会費用 1,837千円 ・職員報酬金120千円、旅費旅費777千円、消耗品費30千円、通信運搬費10千円、会社設立補助金1,000千円 予算額 16,127,000円	①OCRC事業に参画する民間事業者・団体数:3団体以上(H28.3月)、5団体以上(H28.9月) ②県外からの移住者数:282人(H28.3月)、850人(H28.9月)
① 移住定住の推進	健康推進課	「生涯活躍のまち」湯梨井町版OCRC事業の推進 ①(専機) ②(地裁あり)	都市部のアクティブシニアが地方に移住(又は町民の住み替えも)、多世代と交流しながら健康でアクティブな生活を送り、必要な時期に必要な医療・介護を受けることができるような地域づくりの推進	新規	鳥取県が実施主体となり、本町をモデル地区として「湯梨井町版生涯活躍のまち」プランを策定。来年度具体的に実施していくための基本計画を本町で策定予定。 実績額 0円	【計画】C計画どおりに進んでいる。 モデルプランを基に来年度具体的な「生涯活躍のまち」を推進していくための基本計画を本町で策定する。 【結果】鳥取県が主体となり、モデルプランを策定した。	【加算化】※H28.2月修正計上 ・モデル事業費を決定し、地区及び湯梨井大学と連携し、事業実施にむくみ臨検や健康教室を開催する。 ・「まちの保健室」等事業にかかる設備金 88千円 ・地区での健康教室に際する消耗品・使用料 197千円 ・健康教育に必要な備品購入費(PC・フロッピー等)235千円 予算額 500,000円	①OCRC事業に参画する民間事業者・団体数:3団体以上(H28.3月)、5団体以上(H28.9月) ②県外からの移住者数:282人(H28.3月)、850人(H28.9月)
① 移住定住の推進	専務課	「生涯活躍のまち」湯梨井町版OCRC事業の推進 ①(専機) ②(地裁あり)	都市部のアクティブシニアが地方に移住(又は町民の住み替えも)、多世代と交流しながら健康でアクティブな生活を送り、必要な時期に必要な医療・介護を受けることができるような地域づくりの推進	新規	鳥取県が実施主体となり、本町をモデル地区として「湯梨井町版生涯活躍のまち」プランを策定。来年度具体的に実施していくための基本計画を本町で策定予定。 実績額 0円	【計画】C計画どおりに進んでいる。 モデルプランを基に来年度具体的な「生涯活躍のまち」を推進していくための基本計画を本町で策定する。 【結果】鳥取県が主体となり、モデルプランを策定した。	【加算化】※H28.2月修正計上 必要な9割に必要な支援を受け、誰もが生涯にわたって活躍できる、安心して暮らせる湯梨井町の地域活性化の早期実現に向け、福祉・介護・保健・医療の連携について、行政、町民、関係機関が相互発動を取り組むべき方向性、施策を明らかにした地域づくりの基本となる計画を策定する。 ・委託料 10,000,000円 予算額 10,000,000円	①OCRC事業に参画する民間事業者・団体数:3団体以上(H28.3月)、5団体以上(H28.9月) ②県外からの移住者数:282人(H28.3月)、850人(H28.9月)
① 移住定住の推進	町民課	町営住宅の改善向け住宅とOCRCによる高齢者住宅の改善	OCRC構想の核となる取得地の一つとして私崎エリアがある。この地区には老朽化した上町面地をばしめ筋の内回り、校庭地の町営住宅があり、これらの町営住宅を活用し若者の居住やシニア活躍の高齢者住宅の建設が想定される。そこでこの地区の町営住宅の建て替えを検討し、周辺の町営住宅についても検討を考慮する。 H28 生涯活躍のまち推進事業(基本計画策定他)(地方創生加速化)16,127千円の内コンサル委託料 3,000千円	新規	実績額 0円	【加算化】※H28.2月修正計上 町営住宅建て替えについて、生涯活躍のまちに活かされる多世代交流拠点としての取得計画の検討 ・建設場所 ・増築(戸数) ・環状の意向調査 全体事業費のうち3,000千円 予算額 3,000,000円	①OCRC事業に参画する民間事業者・団体数:3団体以上(H28.3月)、5団体以上(H28.9月) ②県外からの移住者数:282人(H28.3月)、850人(H28.9月)	

①移住定住の推進 計

基本目標Ⅲ 町民みなが創るまち

施策	担当課	事業名	事業概要	新規継続	H27 KPI 目標・結果 【H26からの繰越含む】	H27 KPI 事業評価 【H26からの繰越含む】	H28 事業内容 【H27からの繰越含む】	H28 KPI 目標・結果 【H27からの繰越含む】	
98	企画課	地域おこし協力隊事業 ② まちの のぎわい の形 の創り の創り の創り の創り	人口減少や高齢化等の進行が著しい状況において、地域外の人材を積極的に誘致し、その定住・定着を図ることとして、意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていく。 【H27予算額】 ※特交措置あり、平成27年度は平成28年1月～3月 4,200千円(2名×3月) 【H28～30予算額】 ※特交措置あり、総費額166千円×2人×12月、活動費1,000千円×2人 5,984千円×3年＝17,952千円 【H31予算額】 ※特交措置あり、追加採用した者を想定(1人) 報酬費1,992千円＋活動費1,000千円＋専務経費100千円	新規	地域おこし協力隊員を在任(128.11～) ※主に自らの活性化のために活動。 ◆協力隊員名分報酬等574千円 ◆専務事務(人・金)印刷、旅費等162千円 ◆協力隊活動費357千円	【評価】D 計画どおり進んでいる。2名の募集に対し応募はあったものの、選考の結果任用に至らなかった。平成28年度に再度募集を行い、地域おこし協力隊の積極的な活用を目指す。	地域おこし協力隊2名雇用し、地域活動に従事。地域活力向上を図る。 ◆協力隊員名分報酬等 4,642千円 ◆消耗品 15千円 ◆活動費 3,342千円	【目標】 H28 KPI 目標・結果 【H27からの繰越含む】 地域おこし協力隊任用2名 【結果】 地域おこし協力隊任用1名	【目標】 H28 KPI 目標・結果 【H27からの繰越含む】 地域おこし協力隊任用2名(平成27年度任用者含む)
99	企画課	地域おこし協力隊事業 ② まちの のぎわい の形 の創り の創り の創り	コミュニティ助成事業 【目的】自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業を活用し、町内各集落、団体のコミュニティ活動に必要な施設又は設備の整備を行う。 ※補助金1件	継続	コミュニティ助成事業 【目的】自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業を活用し、町内各集落、団体のコミュニティ活動に必要な施設又は設備の整備を行う。 補助金1件 1,300千円	【評価】C 計画どおり進んでいる。 【結果】 補助金1件	コミュニティ助成事業 【目的】自治総合センターが実施するコミュニティ活動に必要な施設又は設備の整備を行う。 補助金0件(交付決定後、補正予算で対応)	【目標】 H28 KPI 目標・結果 【H27からの繰越含む】 地域おこし協力隊任用2名(平成27年度任用者含む)	
100	企画課	地域おこし協力隊事業 ② まちの のぎわい の形 の創り の創り の創り	まちづくり創造事業・ステップ事業 【目的】継続的にまちづくりを推進する団体への助成を行う。対象事業は、原則新規事業で、事業成果が持続性(原則3年以上)及び活性化が図られるソフト事業とする。 ※県費、市町村交付金(1/2) その他、元交なまづくり基金購入金	継続	まちづくり創造事業・ステップ事業 【目的】継続的にまちづくりを推進する団体への助成を行う。対象事業は、原則新規事業で、事業成果が持続性(原則3年以上)及び活性化が図られるソフト事業。 交付補助金 1件200千円×2団体(創造事業) ※県費、市町村交付金(1/2) その他、元交なまづくり基金購入金	【評価】D 計画どおり進んでいる。 【結果】 補助金1件	まちづくり創造事業・ステップ事業 【目的】継続的にまちづくりを推進する団体への助成を行う。対象事業は、原則新規事業で、事業成果が持続性(原則3年以上)及び活性化が図られるソフト事業。 交付補助金 1件200千円×2団体(創造事業) ※県費、市町村交付金(1/2) その他、元交なまづくり基金購入金	【目標】 H28 KPI 目標・結果 【H27からの繰越含む】 まちづくりを創出する団体の育成 新規団体 2団体 継続活動団体 4団体	
101	企画課	地域おこし協力隊事業 ② まちの のぎわい の形 の創り の創り の創り	まちづくり創造事業・ステップ事業 【目的】継続的にまちづくりを推進する団体への助成を行う。対象事業は、原則新規事業で、事業成果が持続性(原則3年以上)及び活性化が図られるソフト事業とする。 ※県費、市町村交付金(1/2) その他、元交なまづくり基金購入金	継続	まちづくり創造事業・ステップ事業 【目的】継続的にまちづくりを推進する団体への助成を行う。対象事業は、原則新規事業で、事業成果が持続性(原則3年以上)及び活性化が図られるソフト事業。 交付補助金 1件200千円×2団体(創造事業) ※県費、市町村交付金(1/2) その他、元交なまづくり基金購入金	【評価】D 計画どおり進んでいる。 【結果】 補助金1件	まちづくり創造事業・ステップ事業 【目的】継続的にまちづくりを推進する団体への助成を行う。対象事業は、原則新規事業で、事業成果が持続性(原則3年以上)及び活性化が図られるソフト事業。 交付補助金 1件200千円×2団体(創造事業) ※県費、市町村交付金(1/2) その他、元交なまづくり基金購入金	【目標】 H28 KPI 目標・結果 【H27からの繰越含む】 まちづくりを創出する団体の育成 新規団体 2団体 継続活動団体 4団体	
102	企画課	地域おこし協力隊事業 ② まちの のぎわい の形 の創り の創り の創り	まちづくり創造事業・ステップ事業 【目的】継続的にまちづくりを推進する団体への助成を行う。対象事業は、原則新規事業で、事業成果が持続性(原則3年以上)及び活性化が図られるソフト事業とする。 ※県費、市町村交付金(1/2) その他、元交なまづくり基金購入金	継続	まちづくり創造事業・ステップ事業 【目的】継続的にまちづくりを推進する団体への助成を行う。対象事業は、原則新規事業で、事業成果が持続性(原則3年以上)及び活性化が図られるソフト事業。 交付補助金 1件200千円×2団体(創造事業) ※県費、市町村交付金(1/2) その他、元交なまづくり基金購入金	【評価】D 計画どおり進んでいる。 【結果】 補助金1件	まちづくり創造事業・ステップ事業 【目的】継続的にまちづくりを推進する団体への助成を行う。対象事業は、原則新規事業で、事業成果が持続性(原則3年以上)及び活性化が図られるソフト事業。 交付補助金 1件200千円×2団体(創造事業) ※県費、市町村交付金(1/2) その他、元交なまづくり基金購入金	【目標】 H28 KPI 目標・結果 【H27からの繰越含む】 まちづくりを創出する団体の育成 新規団体 2団体 継続活動団体 4団体	
103	企画課	地域おこし協力隊事業 ② まちの のぎわい の形 の創り の創り の創り	まちづくり創造事業・ステップ事業 【目的】継続的にまちづくりを推進する団体への助成を行う。対象事業は、原則新規事業で、事業成果が持続性(原則3年以上)及び活性化が図られるソフト事業とする。 ※県費、市町村交付金(1/2) その他、元交なまづくり基金購入金	継続	まちづくり創造事業・ステップ事業 【目的】継続的にまちづくりを推進する団体への助成を行う。対象事業は、原則新規事業で、事業成果が持続性(原則3年以上)及び活性化が図られるソフト事業。 交付補助金 1件200千円×2団体(創造事業) ※県費、市町村交付金(1/2) その他、元交なまづくり基金購入金	【評価】D 計画どおり進んでいる。 【結果】 補助金1件	まちづくり創造事業・ステップ事業 【目的】継続的にまちづくりを推進する団体への助成を行う。対象事業は、原則新規事業で、事業成果が持続性(原則3年以上)及び活性化が図られるソフト事業。 交付補助金 1件200千円×2団体(創造事業) ※県費、市町村交付金(1/2) その他、元交なまづくり基金購入金	【目標】 H28 KPI 目標・結果 【H27からの繰越含む】 まちづくりを創出する団体の育成 新規団体 2団体 継続活動団体 4団体	

基本目標Ⅲ 町民みんなが創るまち

施策	担当課	事業名	事業概要	新規継続	H27 事業実施内容 【H26からの繰越含む】	H27 KPI 目標・経費 【H26からの繰越含む】	H27 KPI 事業計画 【H26からの繰越含む】	H28 事業内容 【H27からの繰越含む】	H28 KPI 目標・結果 【H27からの繰越含む】
104	総務課	防災対策特別強化事業 防災対策特別強化事業 防災対策特別強化事業	各集落防犯監視高層。地域住民が主体的・意欲的に自衛・共助に取り組み支援策として、防災対策に連携した地域に即着した防災対策をより強力に推進する。30自治体間連携予定。	新規	(先行型)※H27.2月補正計上 小地域拠点集会所等ハリアフリー事業 ①基調年度公民館 987,226円(事業費) × 2/3=658,000円 ②小地域集会所 756,000円(事業費) × 2/3=504,000円 ③川上公民館 267,840円(事業費) × 2/3=178,000円 ①+②+③=1,340,000円	新規自主防災組織取組案件:2件 【結果】 新規自主防災組織取組案件:3件	【計画】B 計画以上に進んでいる 【計画】C 計画どおりに進んでいる 【計画】D 計画どおりに進んでいる 【計画】E 計画どおりに進んでいる 【計画】F 計画どおりに進んでいる 【計画】G 計画どおりに進んでいる 【計画】H 計画どおりに進んでいる	H28 事業内容 【H27からの繰越含む】 講義市内各集落の防災意識高層のための人的支援。高層のための人的支援。30以上の各種団体・集落の研究を実施していく。また、自主防災組織を3地区以上設立する。 ・社会保険料 382千円 ・賞金 10千円 ・旅費 10千円 ・消耗品郵券料 564千円	H28 KPI 目標・結果 【H27からの繰越含む】 講義市内各集落の防災意識高層のための人的支援。高層のための人的支援。30以上の各種団体・集落の研究を実施していく。また、自主防災組織を3地区以上設立する。
105	総合福祉課	小地域拠点集会所等ハリアフリー事業	高齢化した地域住民等が安心して地域交流できるために拠点である地域集会所等のハリアフリー改修に対し助成を行う。上限1,000千円、2/3助成。5/3所認定	新規	(先行型)※H27.2月補正計上 ①小地域拠点集会所等ハリアフリー事業 ②小地域集会所 756,000円(事業費) × 2/3=504,000円 ③川上公民館 267,840円(事業費) × 2/3=178,000円 ①+②+③=1,340,000円	【目標】 集会所ハリアフリー一件数:5件 【結果】 集会所ハリアフリー一件数:3件	【計画】C 計画どおりに進んでいる 【計画】D 計画どおりに進んでいる 【計画】E 計画どおりに進んでいる 【計画】F 計画どおりに進んでいる 【計画】G 計画どおりに進んでいる 【計画】H 計画どおりに進んでいる	【目標】 高齢化した地域住民等が安心して地域交流できるために拠点である地域集会所等のハリアフリー改修に対し助成を行う。上限1,000千円、2/3助成。5/3所認定	H28 KPI 目標・結果 【H27からの繰越含む】 集会所ハリアフリー一件数:5件
106	長寿福祉課	買い物困難民対策事業	香含ハルズ運行事業の充実、宅配サービス等の情報提供	継続	【先行型】※H27.2月補正計上 ①小地域拠点集会所等ハリアフリー事業 ②小地域集会所 756,000円(事業費) × 2/3=504,000円 ③川上公民館 267,840円(事業費) × 2/3=178,000円 ①+②+③=1,340,000円	【目標】 宅配サービス取組件数:10件 【結果】 宅配サービス取組件数:10件	【計画】C 計画どおりに進んでいる 【計画】D 計画どおりに進んでいる 【計画】E 計画どおりに進んでいる 【計画】F 計画どおりに進んでいる 【計画】G 計画どおりに進んでいる 【計画】H 計画どおりに進んでいる	【目標】 買い物困難民対策事業の推進、宅配サービス等の情報提供	H28 KPI 目標・結果 【H27からの繰越含む】 宅配サービス取組件数:10件
107	みらい創造室	小さな拠点事業の推進	小学校区など、複数の集落が集まる地域において、商店、診療所などの生活サービスや地域活動を、歩いて助ける範囲でつなぎ、人々が集い、交流する機会を広げ、新しい集落地域の再生を目指す取組を行う。 平成28年度 準備委員会 平成29年度 既存建物解体、耐震補強、実施設計 平成30年度 小さな拠点整備	新規	【先行型】※H27.2月補正計上 ①小地域拠点集会所等ハリアフリー事業 ②小地域集会所 756,000円(事業費) × 2/3=504,000円 ③川上公民館 267,840円(事業費) × 2/3=178,000円 ①+②+③=1,340,000円	【目標】 小学校区など、複数の集落が集まる地域において、商店、診療所などの生活サービスや地域活動を、歩いて助ける範囲でつなぎ、人々が集い、交流する機会を広げ、新しい集落地域の再生を目指す取組を行う。 平成28年度 準備委員会 平成29年度 既存建物解体、耐震補強、実施設計 平成30年度 小さな拠点整備	【計画】C 計画どおりに進んでいる 【計画】D 計画どおりに進んでいる 【計画】E 計画どおりに進んでいる 【計画】F 計画どおりに進んでいる 【計画】G 計画どおりに進んでいる 【計画】H 計画どおりに進んでいる	【目標】 小学校区など、複数の集落が集まる地域において、商店、診療所などの生活サービスや地域活動を、歩いて助ける範囲でつなぎ、人々が集い、交流する機会を広げ、新しい集落地域の再生を目指す取組を行う。 平成28年度 準備委員会 平成29年度 既存建物解体、耐震補強、実施設計 平成30年度 小さな拠点整備	H28 KPI 目標・結果 【H27からの繰越含む】 小学校区など、複数の集落が集まる地域において、商店、診療所などの生活サービスや地域活動を、歩いて助ける範囲でつなぎ、人々が集い、交流する機会を広げ、新しい集落地域の再生を目指す取組を行う。 平成28年度 準備委員会 平成29年度 既存建物解体、耐震補強、実施設計 平成30年度 小さな拠点整備
108	産業振興課	温泉熱を活用した農業・観光分野の2次利用への展開(厚肉)	温泉熱を活用して農業を行う事業者(農業生産法人、兼営農業組織、NPO法人、JA、商工団体等)の取組みに対し支援を行う。	新規	【先行型】※H27.2月補正計上 ①小地域拠点集会所等ハリアフリー事業 ②小地域集会所 756,000円(事業費) × 2/3=504,000円 ③川上公民館 267,840円(事業費) × 2/3=178,000円 ①+②+③=1,340,000円	【目標】 温泉熱を活用して農業を行う事業者(農業生産法人、兼営農業組織、NPO法人、JA、商工団体等)の取組みに対し支援を行う。	【計画】C 計画どおりに進んでいる 【計画】D 計画どおりに進んでいる 【計画】E 計画どおりに進んでいる 【計画】F 計画どおりに進んでいる 【計画】G 計画どおりに進んでいる 【計画】H 計画どおりに進んでいる	【目標】 温泉熱を活用して農業を行う事業者(農業生産法人、兼営農業組織、NPO法人、JA、商工団体等)の取組みに対し支援を行う。	H28 KPI 目標・結果 【H27からの繰越含む】 温泉熱を活用して農業を行う事業者(農業生産法人、兼営農業組織、NPO法人、JA、商工団体等)の取組みに対し支援を行う。
109	企画課	ICT推進事業①	無料公衆無線LAN環境整備(夜間や観光・防災拠点) ICTによる地域の活性化(クラウドを活用した情報共有)ふるさとテレワークの推進(地方に暮らしながらICTを活用し、都市部と同じ仕事ができる)	新規	【先行型】※H27.2月補正計上 ①小地域拠点集会所等ハリアフリー事業 ②小地域集会所 756,000円(事業費) × 2/3=504,000円 ③川上公民館 267,840円(事業費) × 2/3=178,000円 ①+②+③=1,340,000円	【目標】 無料公衆無線LAN環境整備(夜間や観光・防災拠点) ICTによる地域の活性化(クラウドを活用した情報共有)ふるさとテレワークの推進(地方に暮らしながらICTを活用し、都市部と同じ仕事ができる)	【計画】C 計画どおりに進んでいる 【計画】D 計画どおりに進んでいる 【計画】E 計画どおりに進んでいる 【計画】F 計画どおりに進んでいる 【計画】G 計画どおりに進んでいる 【計画】H 計画どおりに進んでいる	【目標】 無料公衆無線LAN環境整備(夜間や観光・防災拠点) ICTによる地域の活性化(クラウドを活用した情報共有)ふるさとテレワークの推進(地方に暮らしながらICTを活用し、都市部と同じ仕事ができる)	H28 KPI 目標・結果 【H27からの繰越含む】 無料公衆無線LAN環境整備(夜間や観光・防災拠点) ICTによる地域の活性化(クラウドを活用した情報共有)ふるさとテレワークの推進(地方に暮らしながらICTを活用し、都市部と同じ仕事ができる)
110	総務課	ICT推進事業②	無料公衆無線LAN環境整備(夜間や観光・防災拠点) ICTによる地域の活性化(クラウドを活用した情報共有)ふるさとテレワークの推進(地方に暮らしながらICTを活用し、都市部と同じ仕事ができる)	新規	【先行型】※H27.2月補正計上 ①小地域拠点集会所等ハリアフリー事業 ②小地域集会所 756,000円(事業費) × 2/3=504,000円 ③川上公民館 267,840円(事業費) × 2/3=178,000円 ①+②+③=1,340,000円	【目標】 無料公衆無線LAN環境整備(夜間や観光・防災拠点) ICTによる地域の活性化(クラウドを活用した情報共有)ふるさとテレワークの推進(地方に暮らしながらICTを活用し、都市部と同じ仕事ができる)	【計画】C 計画どおりに進んでいる 【計画】D 計画どおりに進んでいる 【計画】E 計画どおりに進んでいる 【計画】F 計画どおりに進んでいる 【計画】G 計画どおりに進んでいる 【計画】H 計画どおりに進んでいる	【目標】 無料公衆無線LAN環境整備(夜間や観光・防災拠点) ICTによる地域の活性化(クラウドを活用した情報共有)ふるさとテレワークの推進(地方に暮らしながらICTを活用し、都市部と同じ仕事ができる)	H28 KPI 目標・結果 【H27からの繰越含む】 無料公衆無線LAN環境整備(夜間や観光・防災拠点) ICTによる地域の活性化(クラウドを活用した情報共有)ふるさとテレワークの推進(地方に暮らしながらICTを活用し、都市部と同じ仕事ができる)

基本目標Ⅳ 町民みんなが創るまち

施策	担当課	事業名	事業概要	新設 継続	H27 事業実施内容 【H26からの継続含む】	H27 KPI 目標・結果 【H26からの継続含む】	H27 KPI 事業内容 【H26からの継続含む】	H28 事業内容 【H27からの継続含む】	H28 KPI 目標・結果 【H27からの継続含む】
② まちやらの拠点の形を創り出す	総務課	ICT推進事業③	農村公衆無線LAN環境整備(夜間や防災拠点)災害時等による主な避難所に対し、避難者の災害関連情報を収集したり、被災状況等を各所に配信するために防災Wi-Fiのアクセスポイントを設置する。	新規				主要な避難所の情報整備。 Wi-Fiアクセスポイントが所(水明荘、中央公民館、泊分館、アロハホール、羽合庁舎)に21台を整備していく。 ・工事費負担 3,445千円	Wi-Fiアクセスポイント5か所21台を整備していく。
					実績額 0円			予算額 3,445,000円	
		②まちのにぎわい拠出や拠点の形成 計			実績額 44,670,947円			予算額 96,747,961円	
		基本目標Ⅲ 合計						予算額 119,593,591円	
		総合計			実績額 56,893,462円			予算額 348,371,063円	
					実績額 174,599,701円			予算額 348,371,063円	

基本目標Ⅲ 町民みんなが創るまち

豊かな自然環境を活かしながら本町の魅力を発信し、都市部からのひとの流れをつくとともに、町民一人ひとりが積極的にまちづくりに参画し、町民と行政が連携・協働してまちづくりを推進します。

●数値目標（平成31年度）

指標	数値目標
県外からのI J Uターン者数	850人（H27～H31）
転入転出異動	H31年度均衡

●基本的方向

- 超高齢化の進行や社会情勢の変化により、人口減少・空き家が増加していることから、町の魅力を積極的に発信しながら、移住希望者への支援体制を整備し、移住定住を促進します。
- 生活様式や個人の価値観が多様化する中、今以上にコミュニティの醸成を図るため、町民や団体が主体となって行うまちづくり活動を支援します。
- 地域住民が主体的・意欲的に取り組む地域を守る防災体制づくりや、だれもが参加しやすい拠点づくり、基盤整備を推進します。
- NPO法人、ボランティアグループの育成を図り、各分野における住民参画を促進します。

●具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

①移住定住の推進

《具体的施策》

- 多様な移住ニーズに対応する相談体制の充実やI J Uターンの促進に向け広く本町の魅力を発信
- 若者夫婦や子育て世代の住宅支援をはじめ、町内への移住や定住を促進
- 空き家を活用して移住希望者が求める住まい環境づくりを推進
- 移住定住希望者が本町の暮らしを体験できるよう、お試し住宅の設置や環境づくりを図る
- 鳥取大学等との連携による「地（知）の拠点COC+」事業に参画し、地域の活性化・定住化につながる人材の育成を図る

《重要業績評価指標（KPI）》

指標	現状	目標
空き家バンク成約件数	3件	25件（H27～31）
若者・子育て世代の移住件数	0件	25件（H27～31）

《具体的事業》

- I J Uターン促進事業
- 空き家情報バンク活用促進事業
- 空き家対策事業
- 移住定住者住宅支援事業
- 町外者による「ゆりはま暮らし体験ボランティア」の宿泊費助成事業
- 若者夫婦・子育て世代住宅支援事業

- 三世代同居等支援事業
- 移住者運転免許証取得支援事業
- 住宅取得仲介報酬助成事業
- 鳥取大学等との連携による「地（知）の拠点COC+」事業の推進
- お試し住宅運営事業
- ふるさと奨学資金貸与事業
- 「生涯活躍のまち」湯梨浜町版CCRC事業の推進（再掲）
- 町営住宅の若者向け住宅とCCRCによる高齢者住宅の改修

②まちなぎわい創出や拠点の形成

《具体的施策》

- 町民や団体が主体となって創意工夫による魅力的な地域づくり活動を支援
- 災害に強いまちづくりを進めるため、地域住民が主体的・意欲的に取り組む防災対策を推進
- いつでも、誰もが集える拠点を整備するためバリアフリーなど環境づくりを推進
- 分散している様々な生活サービスや地域活動の場などをつなぐ「小さな拠点」づくりを推進するほか、企業等と連携した移動販売や買い物支援など多機能なサービスの充実を図る
- 山陰自動車道（北条道路）の観光・企業誘致への活用及び緊急時、福祉、健康対応のためのユニバーサルデザインによる道路などの基盤整備を推進
- 地域に伝わる伝統芸能活動や文化資源の活用による地域振興
- ICTの急速な進化がもたらす社会への対応
- 地域資源を有効活用した「癒しの地域づくり」の推進
- 温泉熱・風力・太陽光など自然エネルギーの利活用を図る
- 環境・健康づくり・福祉・教育等様々な分野における団体の育成を図り、自助・共助を推進するほか、住民参画による行政推進を目指す

《重要業績評価指標（KPI）》

指標	現状	目標
新規自主防災組織取組件数	0件	10件（H27～31）
集会所バリアフリー件数	0件	25件（H27～31）
小さな拠点の数	0地域	1地域（H27～31）
温泉熱エネルギー利用施設数	0施設	4施設（H27～31）
NPO法人、ボランティアグループの数	36団体	43団体

《具体的事業》

- 地域おこし協力隊事業
- 地域のにぎわい、まちづくりを創出する事業への支援
- 防災対策特別強化事業
- 小地域拠点集会所等バリアフリー事業
- 買い物難民対策事業
- 小さな拠点事業の推進
- 山陰道からのアクセス道及びユニバーサルデザインによる基盤整備事業の推進
- 温泉熱を活用した農業・観光分野の2次利用への展開（再掲）
- ICT推進事業